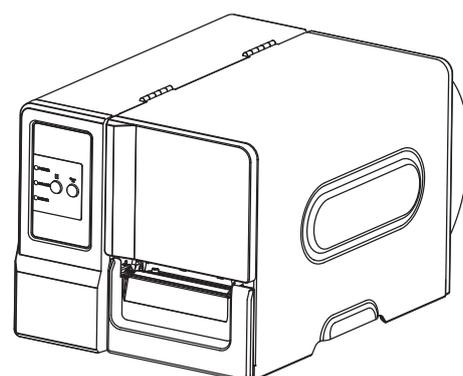


ME240/ ME340

熱転写式/感熱式バーコードプリンタ

取扱説明書



著作権情報

©2011 TSC Auto ID Technology Co., Ltd,
本説明書、また本説明書内に記載されるプリンタ搭載ソフトウェアおよびファームウェアの著作権は TSC Auto ID Technology Co., Ltd の所有です。無断転載および複製を禁じます。

CG Triumvirate は Agfa Corporation の商標です。CG Triumvirate Bold Condensed フォントは Monotype Corporation による特許所有です。Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。
その他の商標は各社の所有です。

本書における情報は事前の通知なしに変更される場合があります、TSC Auto ID Technology Co. 側のいかなる義務も示すではありません。本書のいかなる部分も、TSC Auto ID Technology Co. の書面による事前の許可なく、購入者の個人的使用以外の目的で複製または転送することは、形態、手段のいかんを問わず、固く禁止します。

事業コンプライアンスおよび認可



CE クラス A
EN 55022:2006 +A1:2007
EN 55024:1998+A1:2001+A2:2003
EN 61000-4 SERIES REGULATIONS



FCC CFR Title 47 パート 15 サブパート B:2009-セクション 15.107 および
15.109
ICES-003 Issue 4:2004 クラス A

This device complies with Part 15 of the FCC Rules.
Operation is subject to the following two conditions.
(1) This device may not cause harmful interference, and
(2) This device must accept any interference received,
including interference that may cause undesired operation.



AS/NZS CISPR 22:2009
クラス A



GB4953-2001
GB9254-2008 (クラス A)
GB17625.1-2003

此为 A 级产品，在生活环境中，该产品可能会造成无线电干扰，在这种情况下，可能需要用户对干扰采取切实可行的措施。



UL 60950-1 (第2版)
CSA C22.2 No. 60950-1-07(第 2 版)



EN 60950-1/A1:2010



IEC 60950-1/A1:2009
IEC 60950-1:2005 (第 2 版)

目次

1. はじめに	1
1.1 製品紹介	1
1.2 製品機能	2
1.2.1 プリンタ標準機能	2
1.2.2 プリンタオプション機能	3
1.3 全般仕様	4
1.4 印刷仕様	4
1.5 リボン仕様	4
1.6 メディア仕様	5
2. 操作概要	6
2.1 開梱検査	6
2.2 プリンタ概要	7
2.2.1 正面図	7
2.2.2 内部図	8
2.2.3 背面図	9
2.3 オペレータコントロール	11
2.3.1 フロントパネル&キー	11
2.3.2 LED インジケータ	13
2.4 プリンタの設定	13
2.5 リボンの設置	14
2.5.1 リボンの装着	14
2.6 メディアの設置	17
2.6.1 ロールラベルの取り付け	17
2.6.2 ファンフォールドラベルの取り付け	21
2.6.3 ピールオフモード(オプション)でのメディアの取り付け (オプション)	22
2.6.4 カッターモードでのメディアの取り付け(オプション)	24
2.7 プリンタヘッド圧力調節ノブ	25
3. LCD パネルメニュー機能(オプション)	26
3.1 Setup (設定)メニュー概要	27
3.1.1-1 Printer Setu (プリンタ設定) (TSPL2)	28
3.1.1-2 Printer Setup (プリンタ設定) (ZPL2)	34
3.1.2 Sensor (センサー)	40
3.1.3 Serial Comm. (シリアル通信)	49
3.1.4 Ethernet (イーサネット)	52
3.2 File Manager (ファイルマネージャ)	55

3.2.1 File List (ファイルリスト).....	55
3.2.2 Avail. Memory (利用可能なメモリ).....	56
3.2.3 Del. All Files (すべてのファイルを削除).....	56
3.3 Diagnostics (診断).....	57
3.3.1 Print Config. (印刷構成).....	57
3.3.2 Dump Mode (ダンプモード).....	57
3.3.3 Rotate Cutter (回転カッター).....	58
3.4 Language (言語)	59
3.5 Service (サービス).....	60
3.5.1 Initialization (初期化)	60
3.5.2 Mileage Info. (マイレージ情報).....	60
4. 診断ツール	61
4.1 診断ツールの開始	61
4.2 プリンタ機能	62
5 診断ユーティリティによるイーサネットの設定(オプション)	65
5.1 USB インターフェイスを使用してイーサネットインターフェイスを設定する.....	65
5.2 RS-232C インターフェイスを使用してイーサネットインターフェイスを設定する	66
5.3 イーサネットインターフェイスを使ってイーサネットインターフェイスを設定する	67
6. トラブルシューティング	69
6.1 一般的な問題点	69
6.2 リボンの皺を防ぐ機構微調整	73
7. メンテナンス	75
改訂履歴	76

1. はじめに

1.1 製品紹介

TSC バーコードプリンタをご購入いただき、誠にありがとうございます。

業務用感熱式ラベルプリンタのTSC ME240 シリーズは、市場で最もリーズナブルな価格ながら最適な機能を搭載しています。ME240 シリーズは小さなフットプリントと低いプロファイル設計で大型の業務用プリンタが設置できないような場所にもびったり収まります。

ご家庭、オフィス、店舗環境でも変わらず静かな動作と高速のラベルスループットを発揮。全金属構成とダイキャスト アルミニウムのプリンタ機構エンジンにより、過酷な製作現場にも対応します。

可動センサー設計で幅広いラベルメディアの適用が可能。最も使用頻度の高いバーコード形式もすべて含まれています。フォントおよびバーコードは、4 方向のいずれでも印刷が可能。

本プリンタには、高品質かつ高性能の MONOTYPE IMAGING® True Type フォントエンジンおよび CG Triumvirate Bold Condensed スムーズフォントを 1 種内蔵しています。また柔軟なファームウェア設計により、ユーザーは PC からプリンタメモリに True Type フォントをダウンロードし、ラベル印刷に使用することができます。スケーラブルフォントに加え、英数字ビットマップフォント、OCR-A、OCR-B は 5 種の異なるサイズから選択可能です。このような豊かな機能を統合し、本プリンタはクラス内最高のコスト効率、最高の性能を誇る製品となっています！

ラベル形式の印刷には、ラベリングソフトウェアに付属の試用説明を参照してください。プログラムのカスタマイズが必要な場合は、アクセサリ CD-ROM あるいは TSC ホームページ <http://www.tscprinters.com> の TSPL/TSPL2 プログラミング説明書をご参照ください。

- 用途
 - 配送/受領のコンプライアンス ラベリング
 - パレット ラベリング
 - 在庫管理ラベリング
 - ドラムラベリング
 - 警告ラベル
 - カスタム サイン
 - グラフィックやロゴ、テキストを伴うブランド マーケティング
 - マルチアップラベル(2~3 のラベルの交差)

1.2 製品機能

1.2.1 プリンタ標準機能

プリンタには次の標準機能が搭載されています。

製品標準機能	203dpi モデル	300dpi モデル
熱転写式印刷	○	○
感熱式印刷	○	○
ダイキャストベースのプリンタ装置	○	○
大型クリアメディア表示ウィンドウを搭載した金属カバー	○	○
位置調節可能ギャップセンサー	○	○
位置調節可能ブラックマークセンサー	○	○
リボンエンドセンサー	○	○
リボンエンコーダセンサー	○	○
LED インジケータ	○	○
リアルタイムクロック	○	○
USB 2.0(フルスピード)インターフェイス	○	○
シリアル RS-232C(2400-115200 bps)インターフェイス	○	○
8 MB SDRAM メモリ	○	○
4 MB FLASH メモリ	○	○
最大 4GB までのメモリ拡張用 SD FLASH メモリ カードリーダー	○	○
Eltron [®] および Zebra [®] 言語サポートを含む業界規格エミ ュレーションは箱から出してすぐに使用可能	○	○
内蔵英数ビットマップフォント 8 種	○	○
フォントおよびバーコードは、4 方向のいずれでも印刷が可 能。(0、90、180、270 度)	○	○
内蔵 Monotype Imaging [®] true type フォントエンジン、 CG Triumvirate Bold Condensed スケーラブルフォント 1 種付属	○	○
PC からプリンタメモリへのフォントダウンロード可能	○	○
ファームウェアアップグレードのダウンロード可能	○	○

文字、バーコード、グラフィック/画像印刷(サポートするコードページは TSPL/TSPL2 プログラミング説明書をご参照ください)		○	○
対応バーコード		画像サポート	
1次元 バーコード	2次元 バーコード	BITMAP、 BMP、 PCX (グラフィックス最大 256色)	
コード 39、 コード 93、 コード 128UCC、 Code128 サブセット A.B.C、Codabar、 Interleave 2 of 5、 EAN-8、EAN-13、 EAN-128、 UPC-A、 UPC-E、 EAN および UPC 2(5) デジット拡張、 MSI、 PLESSEY、 POSTNET、 China POST、 GS1 データバー、 コード 11、 Logmars	PDF-417、 Maxicode、 DataMatrix、 QR code、 Aztec		

1.2.2 プリンタオプション機能

プリンタには次のオプション機能が提供されています。

製品オプション機能	ユーザーオプション	販売店オプション	工場出荷オプション
バックライト搭載 LCD ディスプレイ(グラフィックタイプ、128x64 ピクセル)(ベーシックモデルのみ)	-	-	○
内蔵イーサネットプリンタサーバ(10/100Mbps)インターフェイス	-	-	○
USB ホスト(バーコードスキャナおよびPC キーボード向け)	-	-	○
セントロニクスインターフェイス	-	-	○
ピールオフモジュール	-	○	-
カッターモード	-	○	-
Bluetooth モジュール(RS-232C インターフェイス)	○	-	-
ディスプレイつきキーボードユニット(KP-200 Plus)	○	-	-
KU-007 Plus プログラム可能スマートキーボードディスプレイユニット	○	-	-
HCS-200 ロングレンジ CCD スキャナ	○	-	-

1.3 全般仕様

全般仕様

外形寸法	286 mm (幅) x 259 mm (高) x 434 mm (奥行)
重量	11 kg
電力	内蔵スイッチング電源アダプタ AC 入力: 100~240V DC 出力: 24V 3.3A
環境条件	動作: 5 ~ 40°C (41 ~ 104°F)、25 ~ 85% 結露なし 保管: -40 ~ 60°C (-40 ~ 104°F)、10 ~ 90% 結露なし

1.4 印刷仕様

印刷仕様	203dpi モデル	300dpi モデル
プリンタヘッド解像度	203 ドット/インチ (8 ドット/mm)	300 ドット/インチ (12 ドット/mm)
印刷方式	熱転写式および感熱式	
ドットサイズ(幅×長さ)	0.125 x 0.125 mm (1 mm = 8 ドット)	0.084 x 0.084 mm (1 mm = 11.8 ドット)
印刷速度(インチ/秒)	最大 6ips	最大 4ips
最大印刷幅	104 mm (4.09")	
最大印刷長	2,286 mm (90")	1,016 mm (40")

1.5 リボン仕様

リボン仕様

リボン外径	最大 81.3 mm
リボン長	450 メートル
リボンコア内径	1 インチ (25.4 mm)
リボン幅	最大 110 mm
	最小 40 mm
リボン巻きタイプ	外巻き印刷

1.6 メディア仕様

メディア仕様	203dpi モデル	300dpi モデル
ラベルロール容量	203.2 mm (8") OD	
メディア位置合わせ	エッジ位置合わせ	
ラベルタイプ	連続、ダイカット、ブラックマーク、ファンフォールド、ノッチ	
ラベル巻きタイプ	印刷面外巻き	
メディア幅 (ラベル+ライナー)	最大 118 mm (4.6") 最小 25.4 mm (1.0")	
メディア厚 (ラベル+ライナー)	最大 0.28 mm (11 ミル) 最小 0.06 mm (2.36 ミル)	
ラベルロールコア直径	25.4 mm~76.2 mm (1"~3")	
ラベル長	5~2,286 mm (0.2"~90")	5~1,016 mm (0.2"~40")
ラベル長(ピーラーモード)	最大 152.4 mm (6") 最小 25.4 mm (1")	
ラベル長(カッターモード)	最大 2,286 mm (90") 最小 25.4 mm (1")	最大 1,016 mm (40") 最小 25.4 mm (1")
ギャップ高	最小 2 mm	
ブラックマーク高	最小 2 mm	
ブラックマーク幅	最小 8 mm (0.31")	

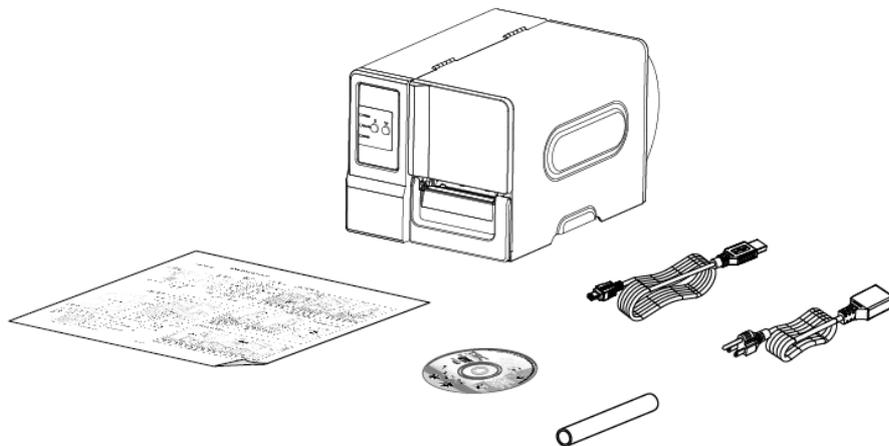
2. 操作概要

2.1 開梱検査

このプリンタは出荷中に損傷しないよう特別に梱包されています。バーコードプリンタを受け取ったら、すぐパッケージとプリンタを注意深く点検してください。プリンタを送り返すときに必要となる場合があるので、梱包資材は保存しておいてください。

プリンタのカートンには、次の品目が含まれています。

- プリンタ装置 x1
- Windows ラベリングソフトウェア/Windows ドライバーCD ディスク x1
- クイックインストールガイド x1
- 電源コード x1
- USB インターフェイスケーブル x1
- リボンテークアップペーパーコア 1 本



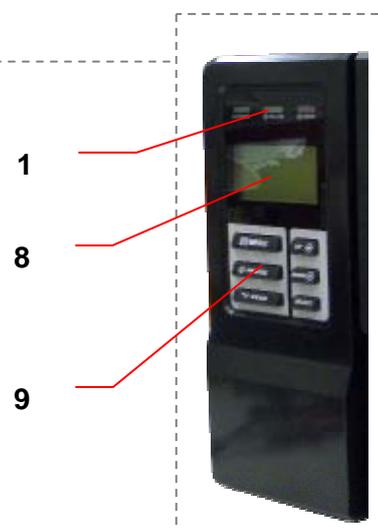
部品が不足している場合は、購入された小売店または販売業者のカスタマーサービス部に連絡してください。

2.2 プリンタ概要

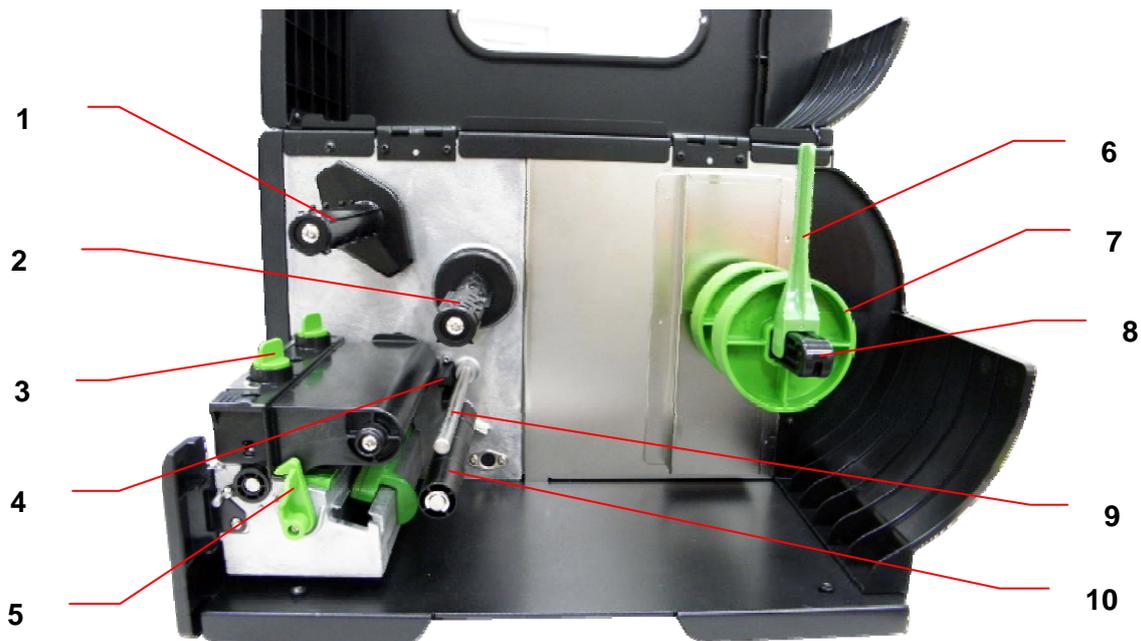
2.2.1 正面図



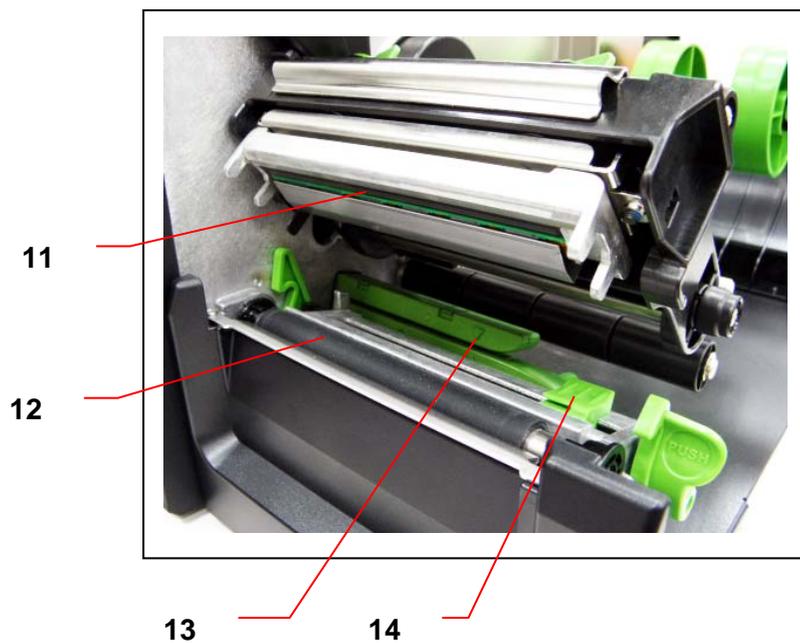
1. LED インジケータ
2. 一時停止キー
3. 排紙キー
4. 排紙シュート
5. 低部フロントカバー
6. メディアビューア
7. プリンタ右側カバーオープナー
8. LCD (オプション)
9. LCD モジュール用キー (オプション)



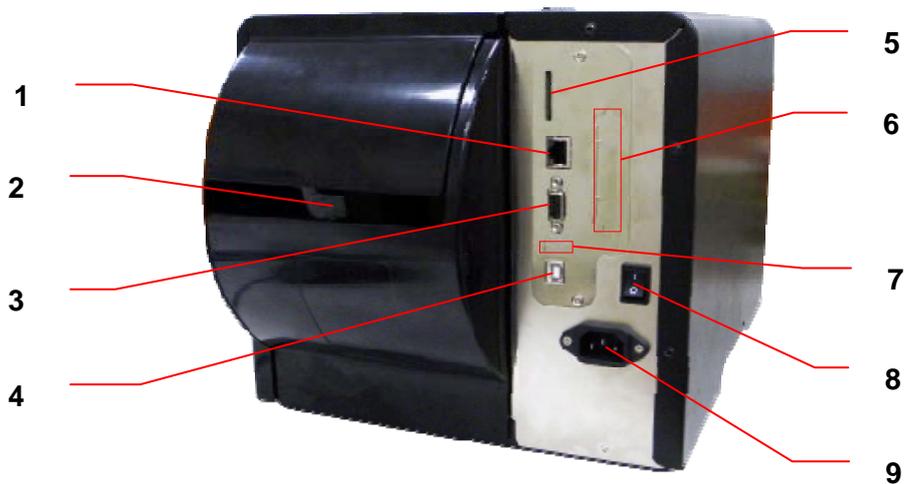
2.2.2 内部図



1. リボン巻き戻しスピンドル
2. リボンサブライスピンドル
3. プリンタヘッド圧力調節ノブ
4. リボンエンドセンサー
5. プリンタヘッドリリースレバー
6. ラベルロールガード
7. 3インチコアアダプタ
8. ラベルサブライスピンドル
9. リボンガイドバー
10. メディアガイドバー
11. プリンタヘッド
12. プラテンローラー
13. メディアセンサー
14. ラベルガイド



2.2.3 背面図



1. 内蔵イーサネットインターフェイス(オプション)
2. ファンフォールド用紙入口シュート
3. RS-232 インターフェイス (最大 115,200 bps)
4. USB 2.0 インターフェイス(USB 2.0/ フルスピードモード)
- *5. SD カードスロット
6. セントロニクスインターフェイス(オプション)
7. USB ホスト (オプション)
8. 電源スイッチ
9. 電源ジャックソケット

注記:

このインターフェイス画像は参照用です。インターフェイスの可用性については製品仕様をご覧ください。

*推奨 SD カードの仕様

SD カード仕様	SD カード容量	認定 SD カード製造元
V1.0、V1.1	128 MB	SanDisk、Transcend
V1.0、V1.1	256 MB	SanDisk、Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	512 MB	SanDisk、Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	1 GB	SanDisk、Transcend、Panasonic
V2.0 SDHC CLASS 4	4 GB	
V2.0 SDHC CLASS 6	4 GB	SanDisk、Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	microSD 128 MB	Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	microSD 256 MB	Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	microSD 512 MB	Panasonic
V1.0、V1.1	microSD 1 GB	Transcend、Panasonic
V2.0 SDHC CLASS 4	microSD 4 GB	Panasonic

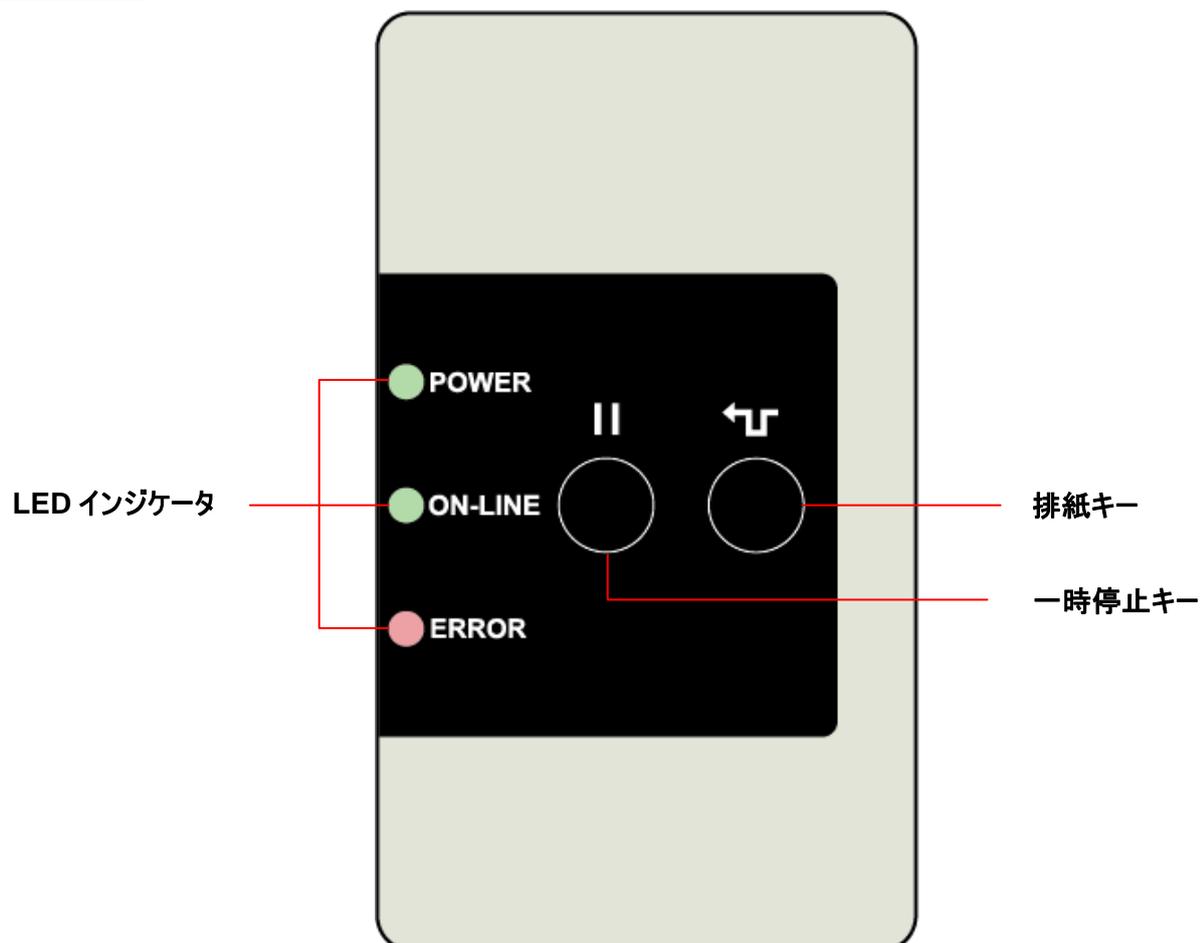
V2.0 SDHC CLASS 6	microSD 4 GB	Transcend
V1.0、V1.1	miniSD 128 MB	Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	miniSD 256 MB	Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	miniSD 512 MB	Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	miniSD 1 GB	Transcend、Panasonic
V2.0 SDHC CLASS 4	miniSD 4 GB	Transcend
V2.0 SDHC CLASS 6	miniSD 4 GB	

- DOS FAT ファイルシステムは SD カードに対応しています。
- SD カードに格納されるフォルダ/ファイルは 8.3 ファイル名フォーマットでなければなりません。
- SD カードリーダー用の miniSD/microSD カードアダプタが必要となります。

2.3 オペレータコントロール

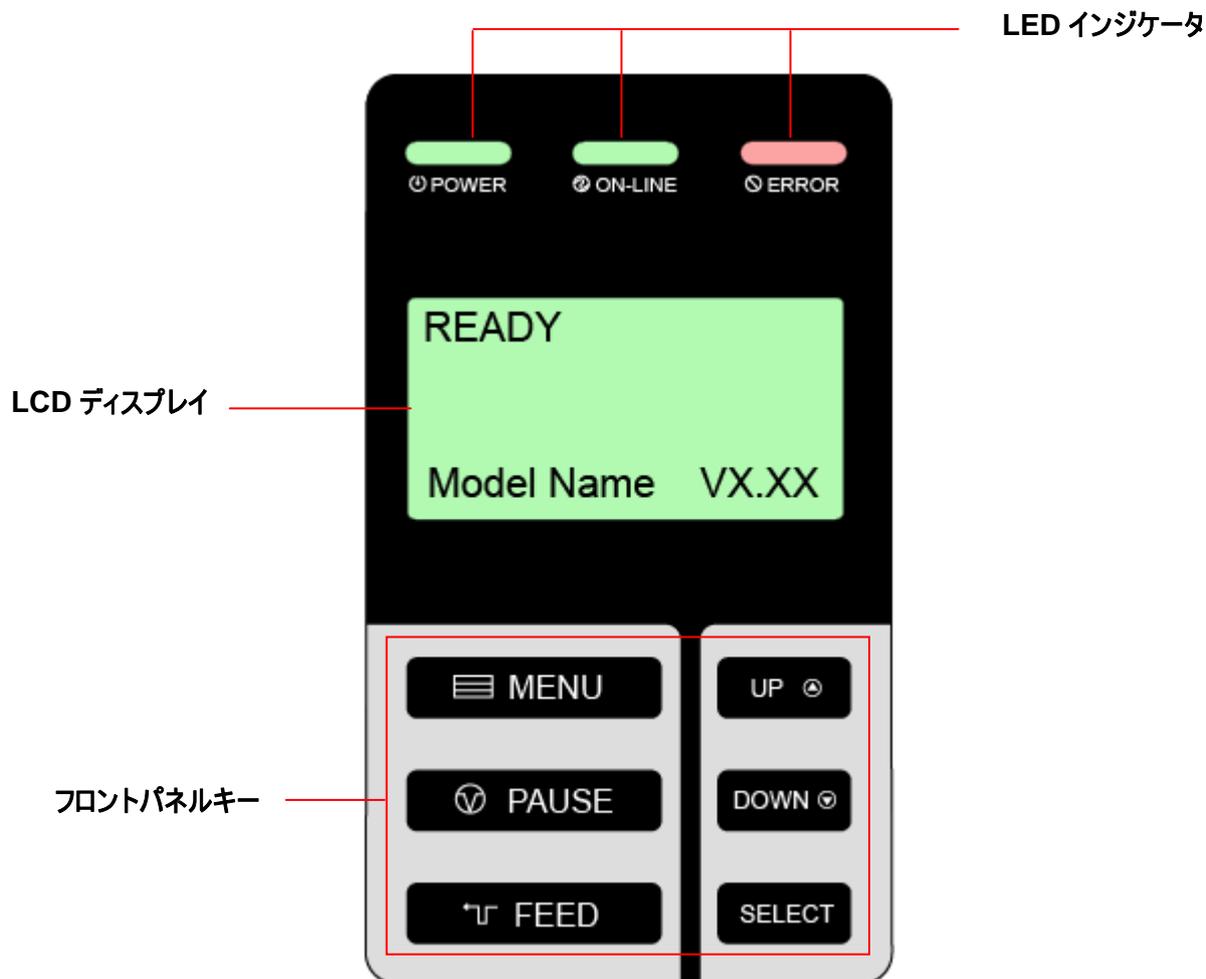
2.3.1 フロントパネル&キー

標準装備



キー	機能
 排紙キー	ラベルをひとつ進めます
 一時停止キー	印刷処理を一時停止/再開します

オプション



キー	機能
MENU	1. メニューを入力 2. メニューを終了、あるいは設定をキャンセルし前のメニューに戻ります
PAUSE	印刷処理を一時停止/再開します
FEED	ラベルをひとつ進めます
UP	メニューリストをスクロールアップします
DOWN	メニューリストをスクロールダウンします
SELECT	カーソルが置かれているオプションを確定/選択

2.3.2 LED インジケータ

LED	ステータス	表示
付属電源アダプタ	オフ	プリンタの電源はオフです
	オン	プリンタの電源はオンです
オンライン	オン	プリンタ準備完了
	点滅中	一時停止 データをプリンタにダウンロード中
エラー	オフ	プリンタ準備完了
	オン	「Carriage open」(キャリッジが開いています)、「Cutter error」(カッターエラー) あるいは「Clearing data」(データ消去中)
	点滅中	「No paper」(紙がありません)、「Paper jam」(紙詰まり) あるいは「No ribbon」(リボンがありません)

2.4 プリンタの設定

1. プリンタを平らで安全な表面に置きます。
2. 電源スイッチがオフになっていることを確認してください。
3. 付属の USB ケーブルでプリンタをコンピュータに接続します。
4. プリンタ背面の AC 電源コードソケットに電源コードを差し込み、正しく接地した電源コンセントに電源コードを差し込みます。

注記:

プリンタ電源スイッチをオフにしてから、電源コードをプリンタの電源ジャックに差し込んでください。

2.5 リボンの設置

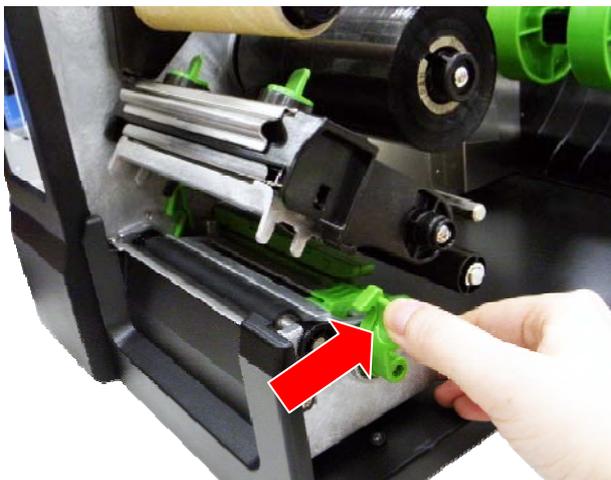
2.5.1 リボンの装着



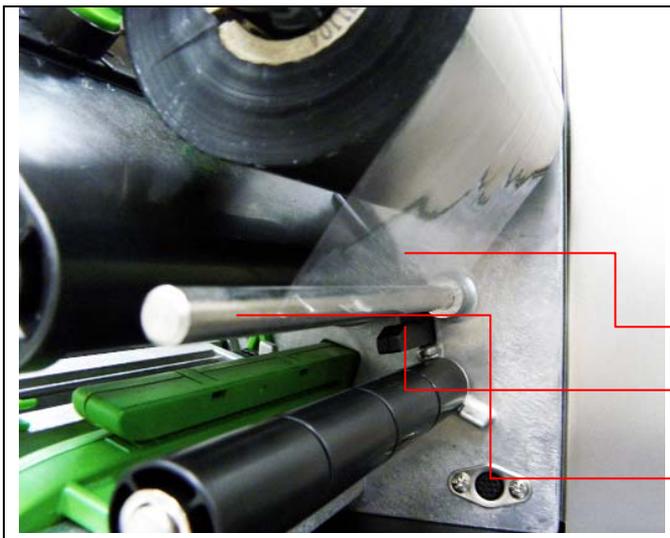
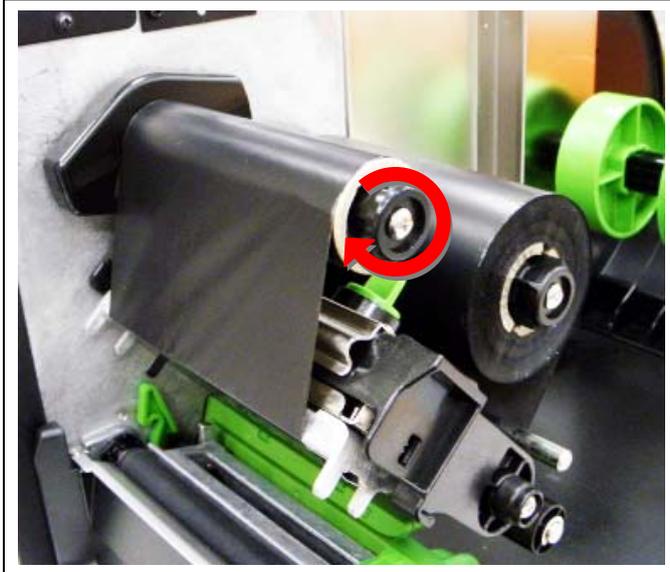
1. プリンタ右側カバーを開けます。

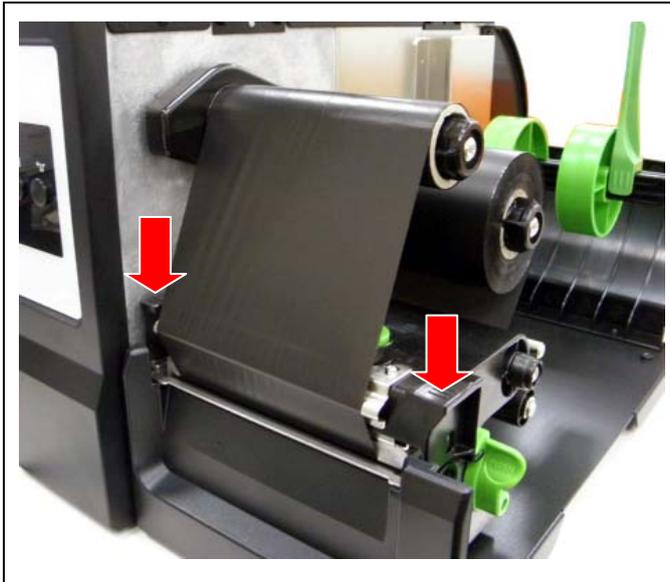


2. リボンおよびペーパーコアをリボンサプライスピンドルとリボン巻き戻しスピンドルに取り付けます。ペーパーコアとリボンロールをスピンドルの終わりまで押し込みます。



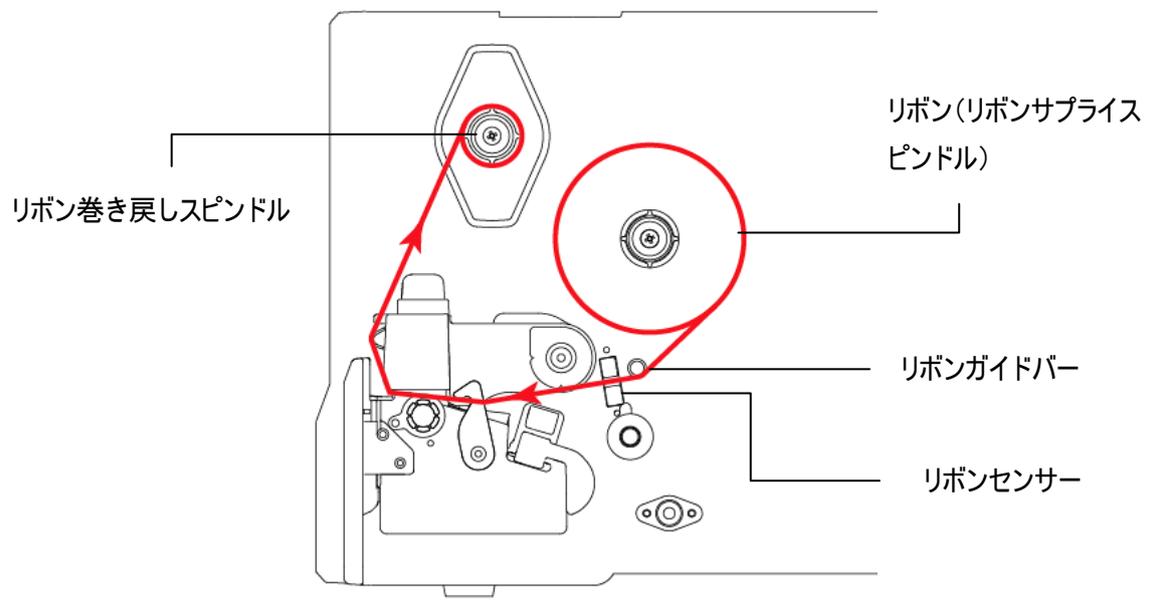
3. プrintヘッドリリースレバーを押してプリンタヘッド機構を開けます。

	<p>4. リボンがプリンタヘッドを通り抜けるまで、リボンリーダーをリボンセンサーとリボンガイドバーの間のスロットに通し、リボンリーダーをリボン巻き戻しスピンドルに設置します。</p> <p>リボンリーダー</p> <p>リボンセンサー</p> <p>リボンガイドバー</p>
	<p>5. リボンリーダーをペーパーコアに留めます。リボンは皺のよらないよう平らに保ちます。</p>
	<p>6. リボンの黒いセクションがリボンリーダーが完全に覆うまでリボン巻き戻しスピンドルを回します。</p>



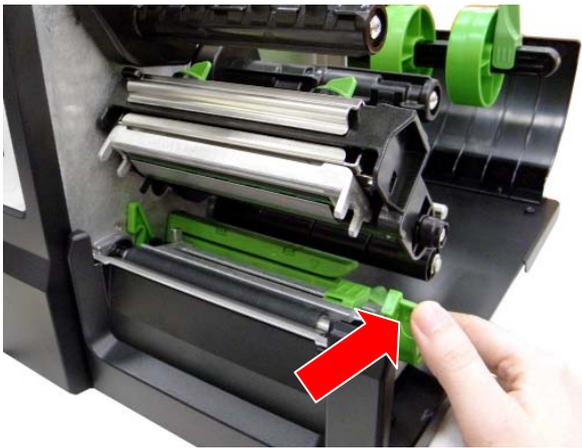
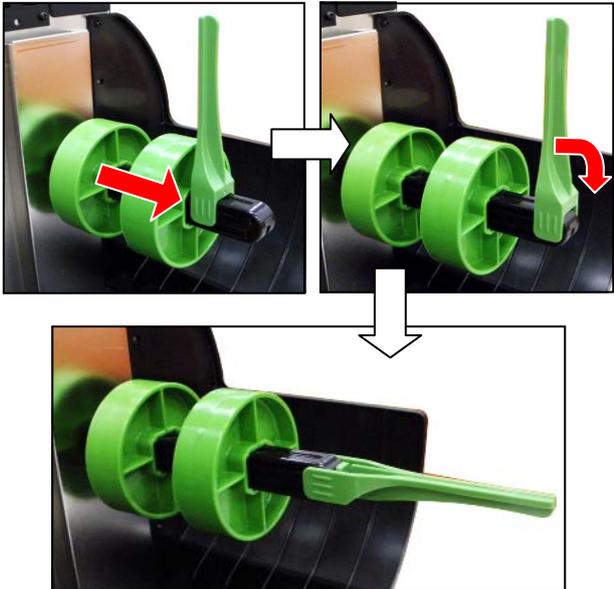
7. プリンタヘッド機構を閉じます。掛け金がしっかりかかっていることを確認してください。

● リボンの取り付け経路



2.6 メディアの設置

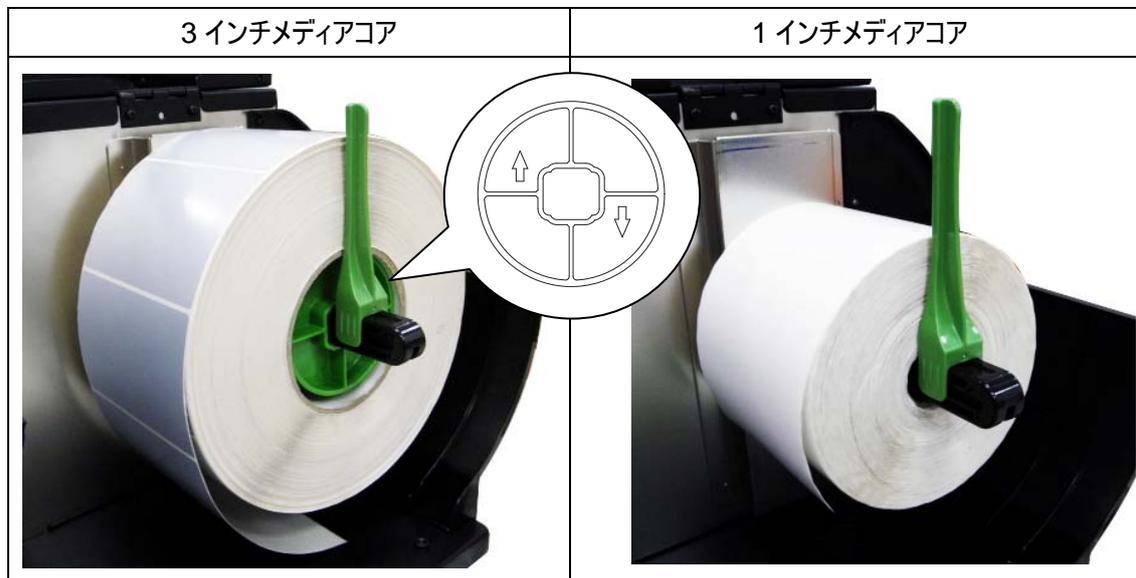
2.6.1 ロールラベルの取り付け

	<p>1. プリンタ右側カバーを開けます。</p>
	<p>2. プリントヘッドリリースレバーを押してプリンタヘッド機構を開けます。</p>
	<p>3. ラベルロールガードを水平方向にラベルスピンドルの終わりまで動かし、そこでラベルロールガードを反転します。</p>

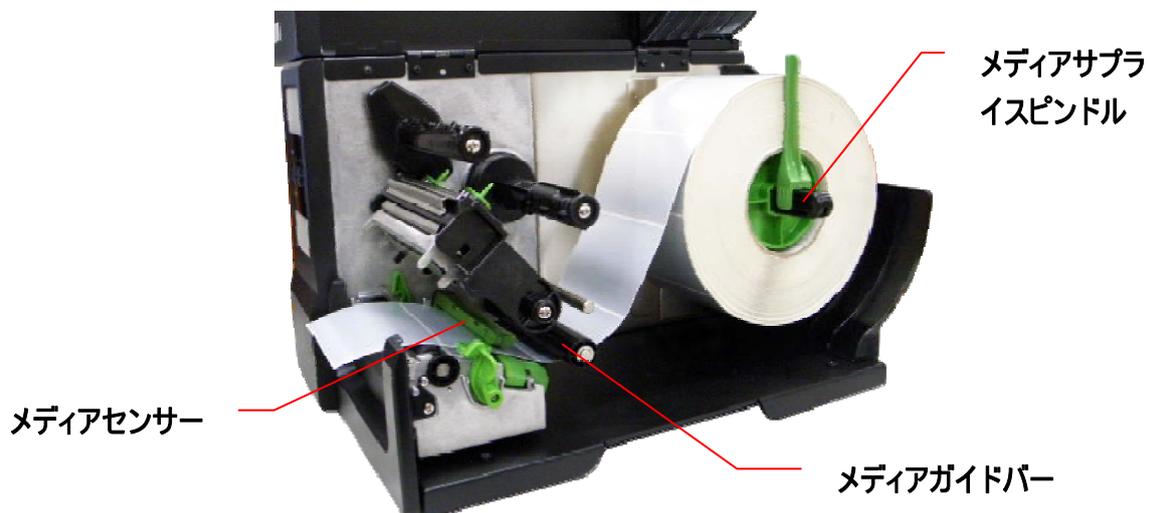
4. ラベルサプライスピンドル上にメディアロールを置きます。ラベルロールガードを跳ね上げます。

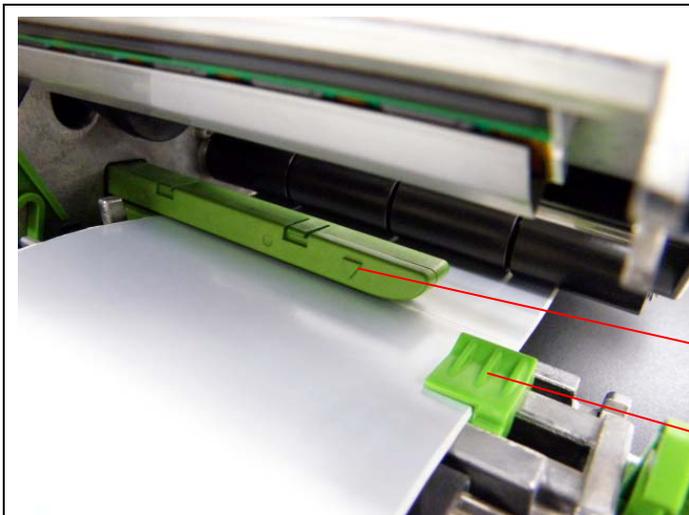
注記:

3 インチコアアダプタをスピンドルに挿入する場合は、下図の矢印の方向にご注意ください。コアが1 インチの場合、ラベルサプライから3 インチコアアダプタを取り外してください。



5. ラベルロールの先端をメディアガイドバー、ダンパー、およびメディアセンサーに通して引き出し、続いてラベルの先端をプラテンローラー上に配置します。

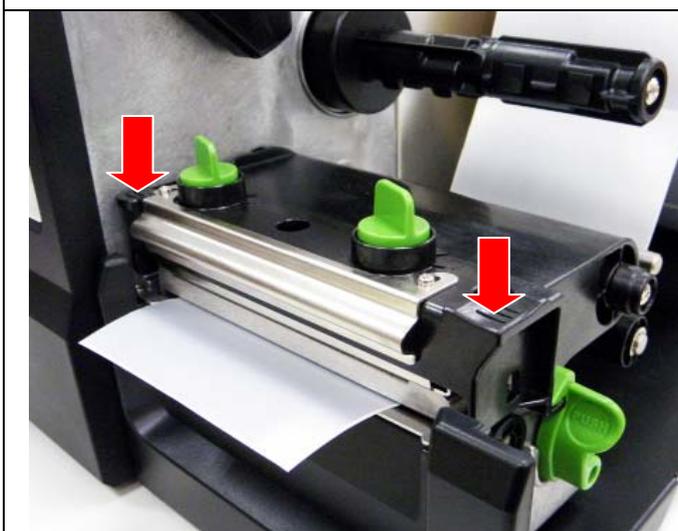




6. ラベルガイドをラベルの幅に合わせて調整します。メディアセンサーの三角形の印が用紙のフィード経路上にあり、ラベル登録用のギャップ、ブラック、ノッチを検出できるようにしてください。

メディアセンサーインジケータ

ラベルガイド



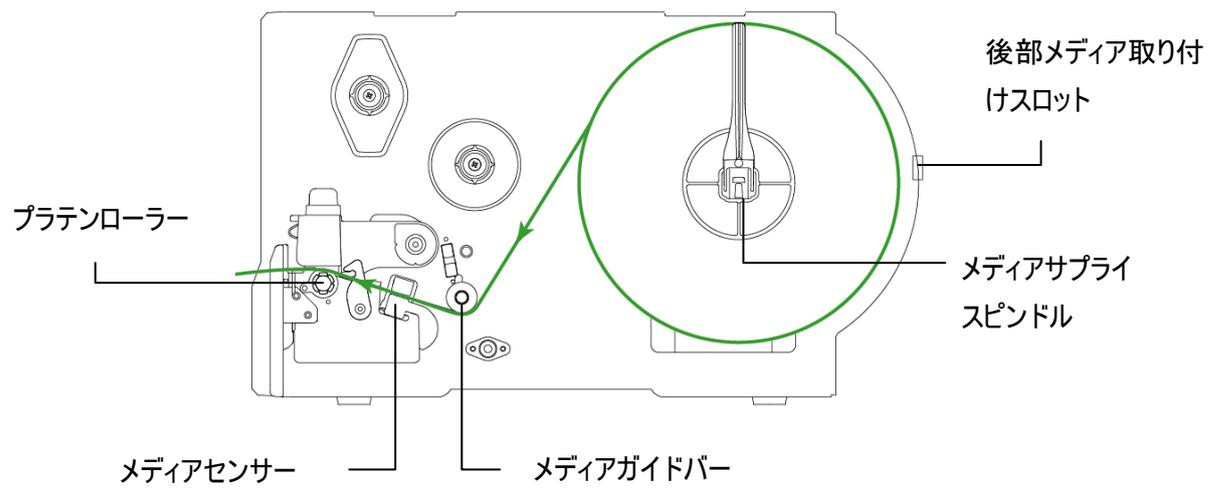
7. プリンタヘッド機構を閉じます。掛け金がしっかりかかっていることを確認してください。

8. 診断ツールを使ってメディアセンサーの種類をセットし、選択したセンサーを校正します。(セクション 4 を参照してください)

注記:

- メディアを変更する時は、ギャップ/ブラックマークのセンサーを校正してください。
- センサー位置はセンサー収納部の三角型の印 ▼ で示されています。
- メディアセンサー位置は移動可能です。メディアギャップ/ブラックマークが通過しセンサーが反応する位置にギャップあるいはブラックマークが位置するようにしてください。

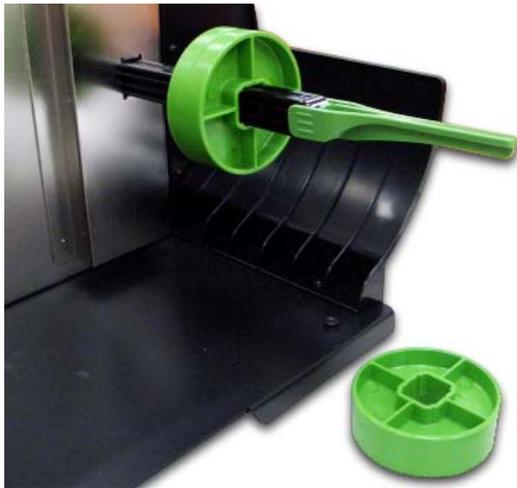
● ロールラベルの取り付け経路



2.6.2 ファンフォールドラベルの取り付け

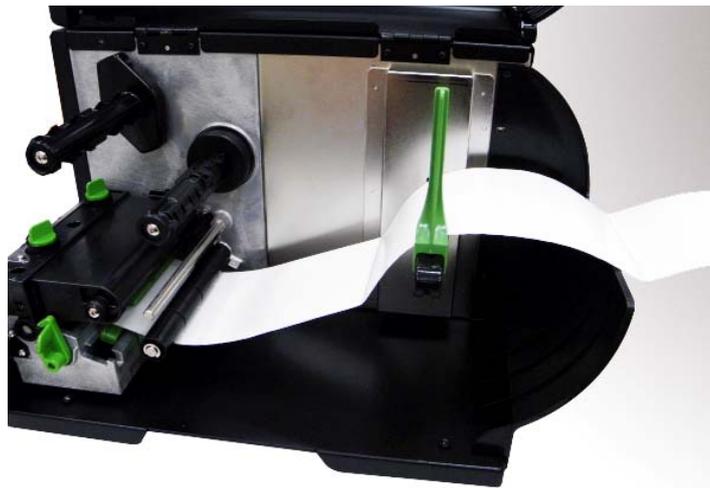
背面の外部ラベル入口シュートからファンフォールドメディアを送ります。

1. プリンタ右側カバーを開けます。
2. プリントヘッドリリースレバーを押してプリンタヘッド機構を開けます。
3. ラベルロールガードを水平方向にラベルスピンドルの終わりまで動かし、そこでラベルロールガードを反転します。



4. 3 インチコアアダプタをメディアサプライスピンドルから取り外します。

5. ファンフォールドメディアを背面の外部ラベル入口シュートを通して挿入します。
6. ファンフォールドの先端をメディアガイドバーおよびメディアセンサーに通して引き出し、続いてラベルの先端をプラテンローラー上に配置します。
7. ラベルロールガードおよびラベルガイドを用紙の幅に合わせてスライドして調節します。
8. プリンタヘッド機構を閉じ、留め金がしっかり嵌まっていることを確認します。



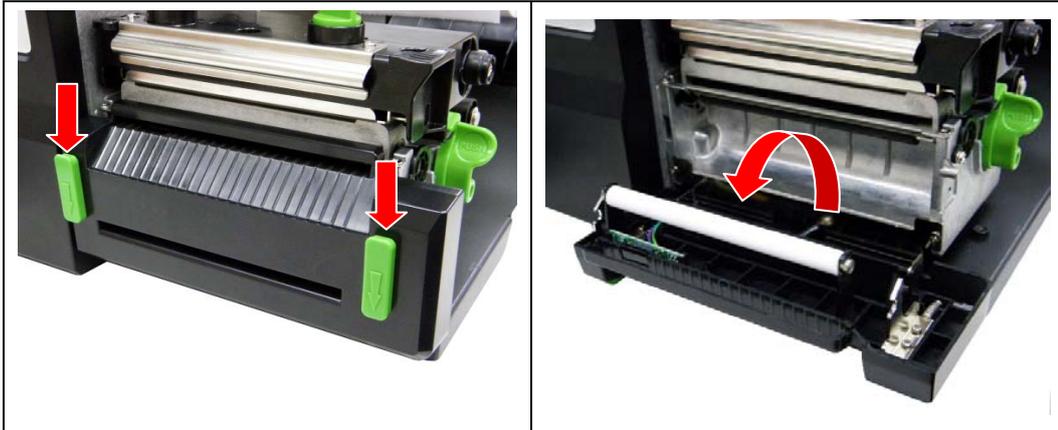
9. メディアセンサーの種類をセットし、選択したセンサーを校正します。(セクション 4 を参照してください)

注記:

メディアを変更する時は、ギャップ/ブラックマークのセンサーを校正してください。

2.6.3 ピールオフモード(オプション)でのメディアの取り付け (オプション)

1. ピールオフカバーのタブを引き下げて、ピールオフカバーを開きます。



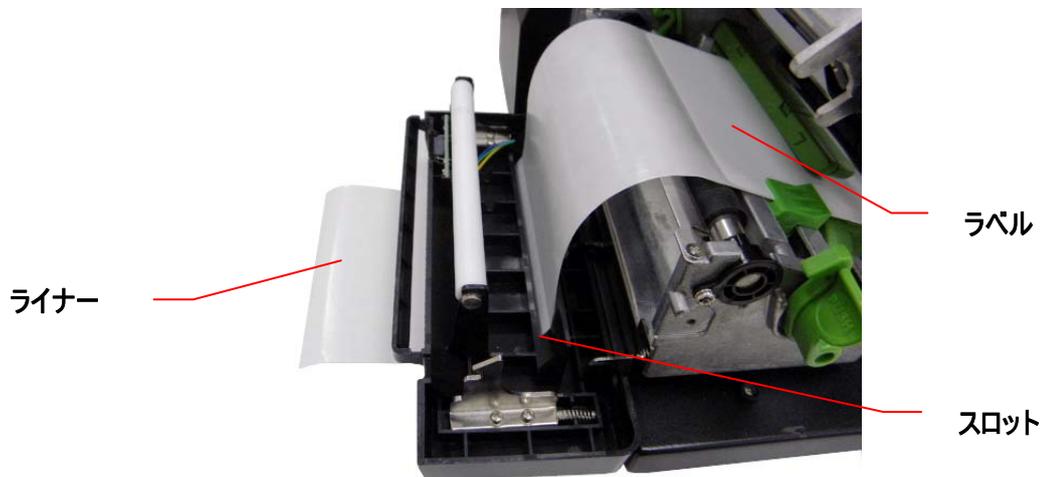
2. メディアをロードするには、2.6.1 章を参照してください。

3. 診断ツールを使ってメディアセンサーの種類をセットし、選択したセンサーを校正します。(4章を参照してください。)

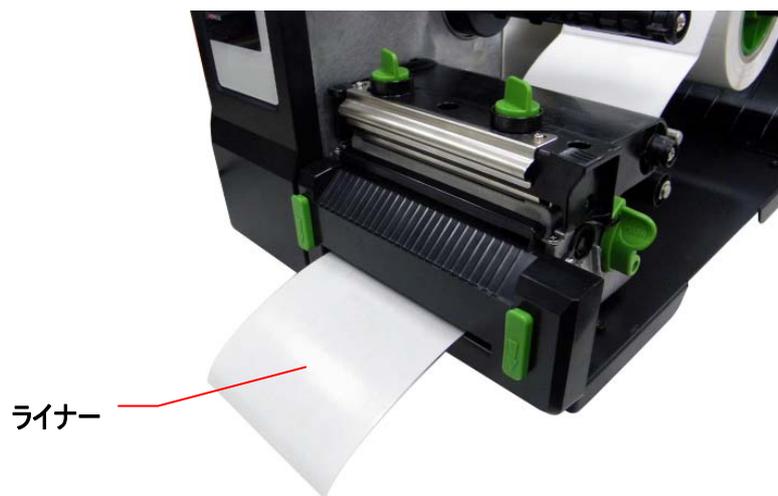
4. プリンタ正面からラベルを引き出し、ラベルをいくつか剥がしてライナーのみを残します。



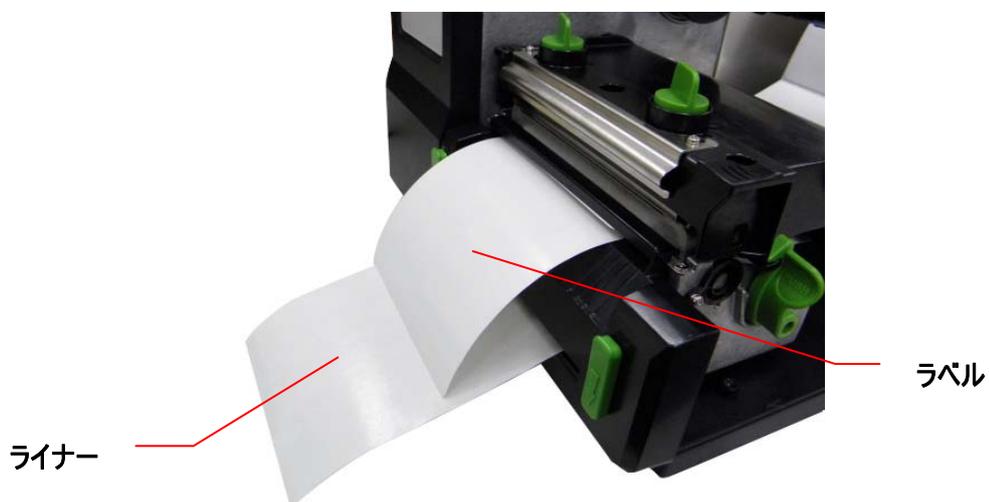
5. ライナーをピールオフカバースロットにフィードします。



6.ピールオフカバーおよびプリンタヘッド機構を閉じます。



7. 診断ツールを使ってプリンタ設定をピーラーモードに設定します。(4章を参照してください)ピーリングは自動的に開始します。フィードボタンを押してテストします。

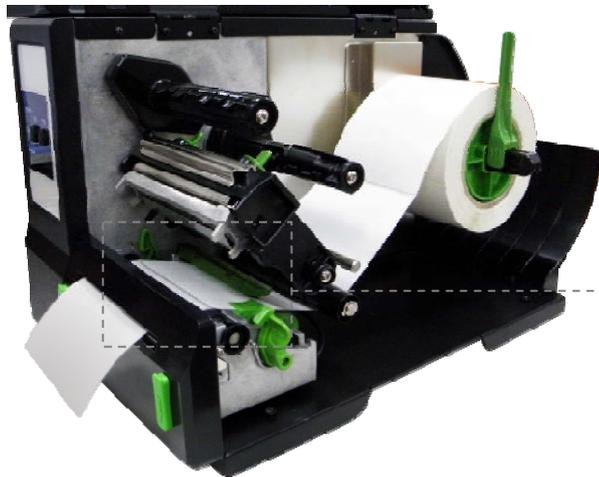


注記:

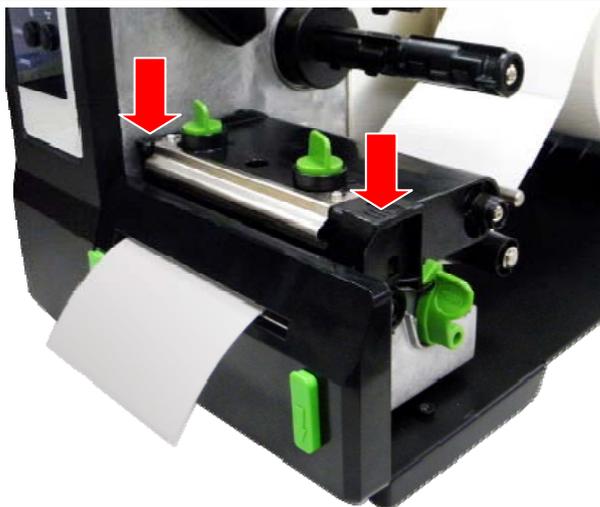
メディアを変更する時は、ギャップ/ブラックマークのセンサーを校正してください。

2.6.4 カッターモードでのメディアの取り付け(オプション)

1. ラベルを取り付けます。(2.6.1 章を参照してください)
2. メディアをカッターペーパー開口部を通して送ります。
3. ラベルガイドをラベルの幅に合わせて調整します。



カッターペーパー
開口部



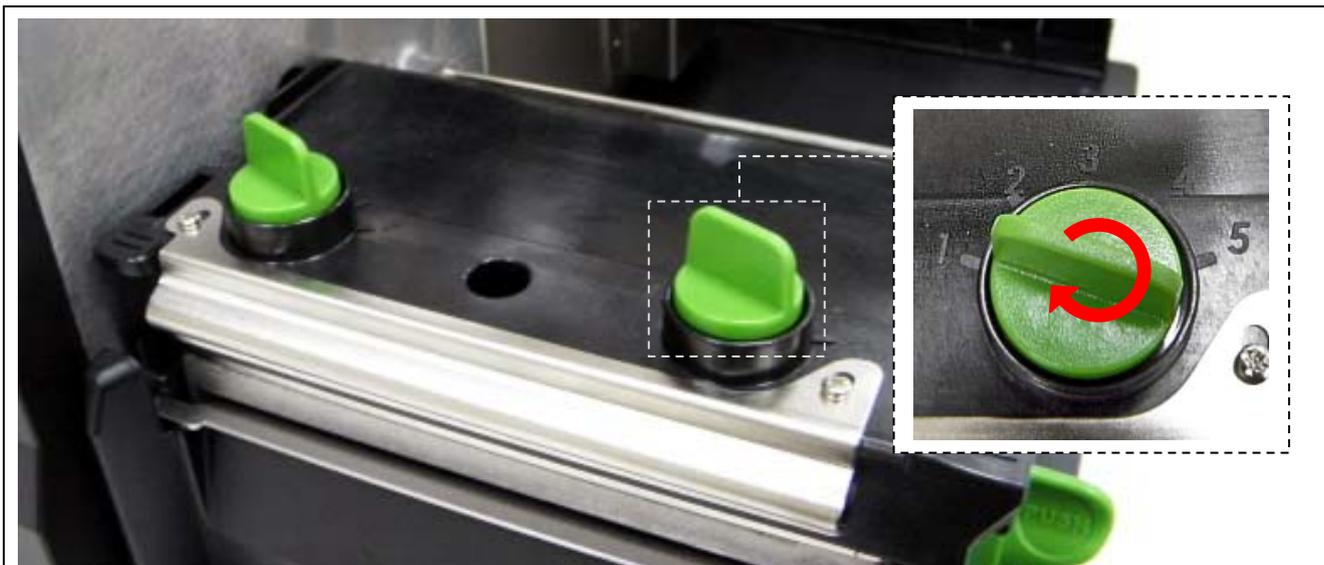
4. プリンタヘッド機構を閉じ、留め金がしっかり嵌まっていることを確認します。

5. 診断ツールを使ってプリンタ設定をカッターモードに設定します。(4 章を参照してください) フィードボタンを押してテストします。

注記:

メディアを変更する時は、ギャップ/ブラックマークのセンサーを校正してください。

2.7 プリントヘッド圧力調節ノブ



プリントヘッド圧縮を調整する必要がある状況は 2 種類あります。

1. 厚いメディアに印刷する

メディア厚が 0.19mm より厚い場合、良好な印刷画質を得るにはより高い圧力が必要となります。

2. 幅の狭いメディアに印刷する

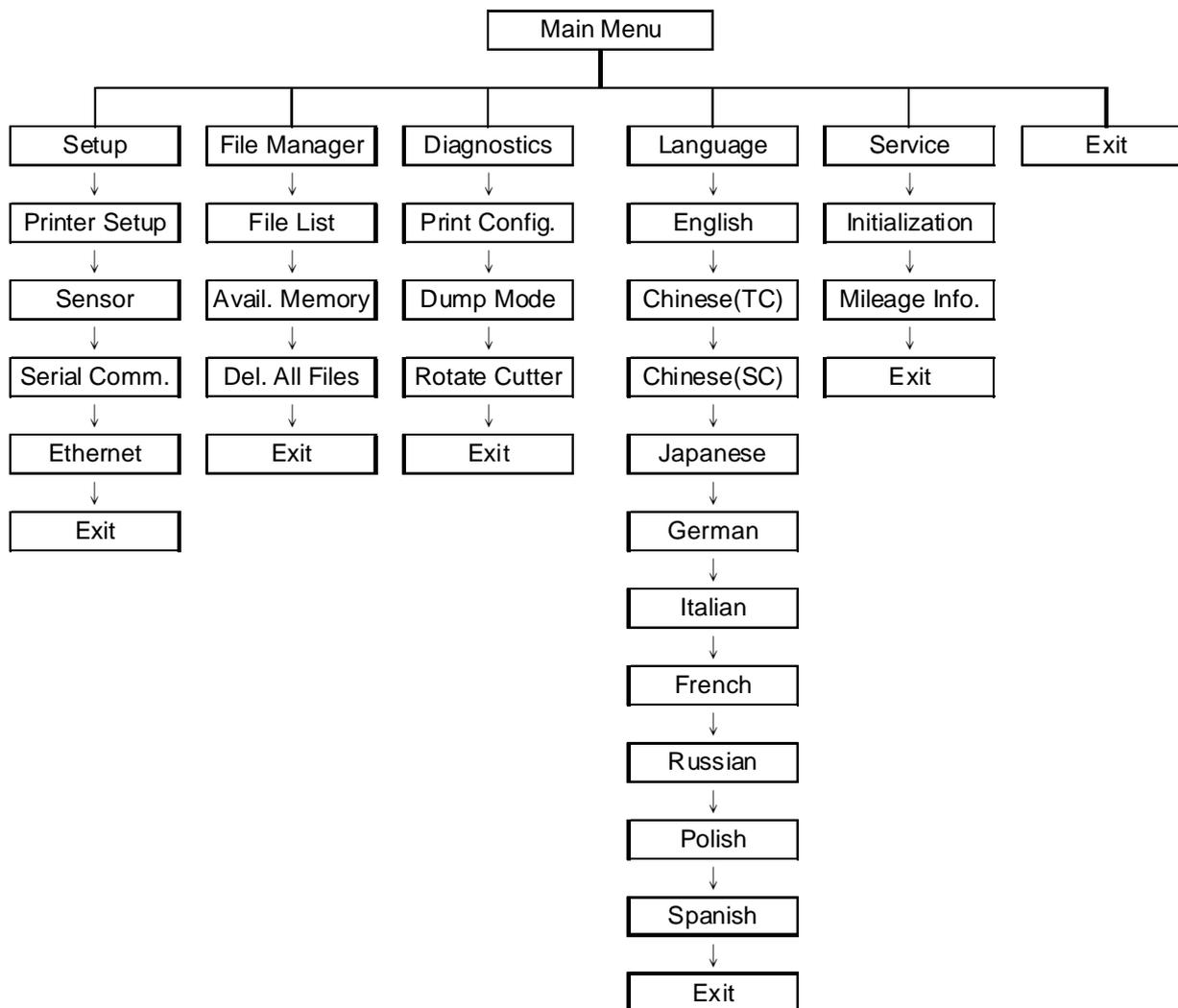
メディア幅が 4 インチ以下の場合、リボンに皺が寄らないようプリントヘッド圧力を調整する必要があります。

圧力の調節には 5 レベルあります。レベル 1 は最小レベルの圧力であり、レベル 5 は最大圧力となります。

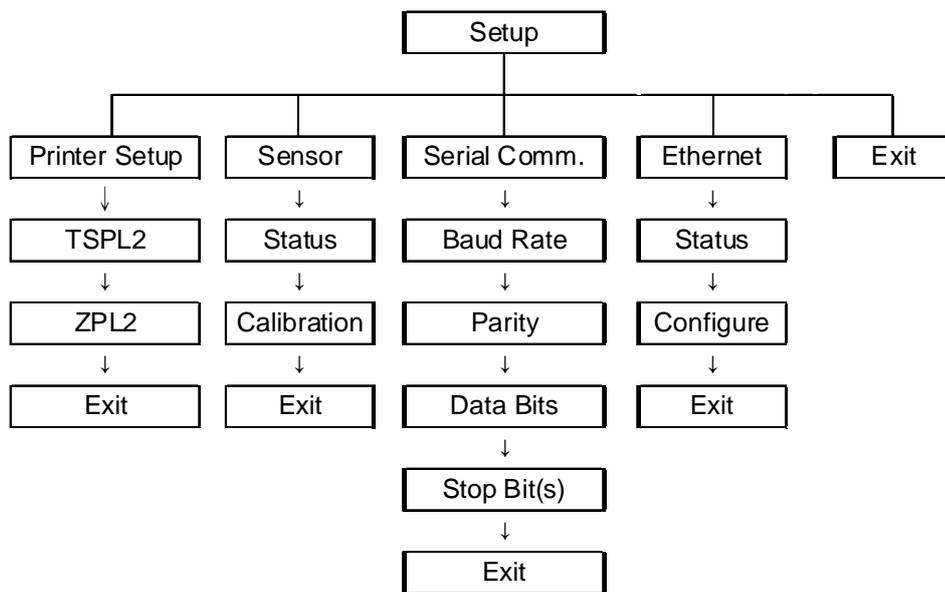
例えば、ラベル幅が 4 インチの場合、両方のプリントヘッド圧力調節ノブを同レベルに調節します。ラベルの幅が 2 インチ以下の場合、左側の調節ノブを時計回りに回してプリントヘッドの圧力を増加し、右側の圧力調節ノブは反時計回りに回してレベル 1 まで低下させます。

3. LCD パネルメニュー機能(オプション)

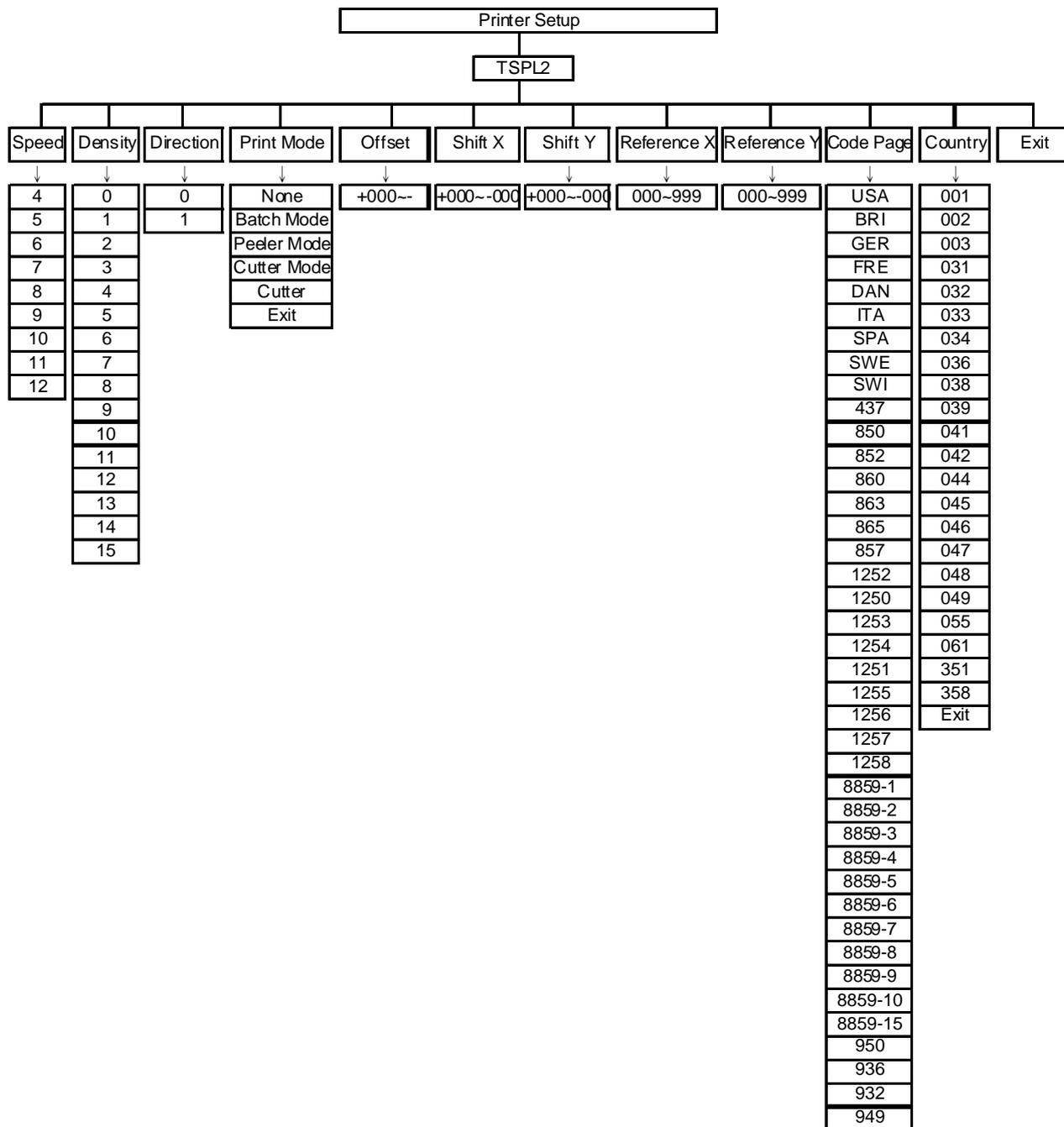
Main Menu (メインメニュー)概要



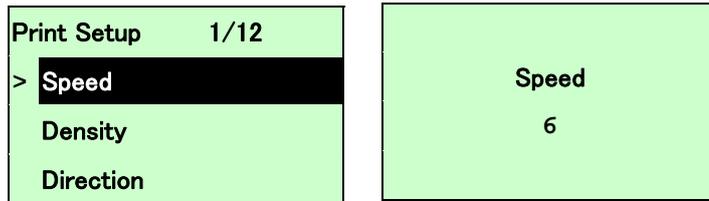
3.1 Setup (設定)メニュー概要



3.1.1-1 Printer Setu (プリンタ設定) (TSPL2)



3.1.1-1.1 Speed (速度):

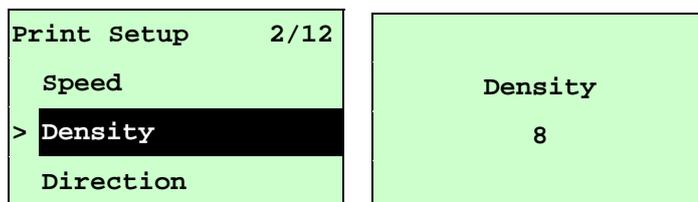


このオプションを使用して印刷速度を設定します。各増加/減少は 1ips ごとです。プリンタのデフォルト濃度は 5ips (203dpi) あるいは 3ips (300dpi) です。

UP \odot キーを押すと印刷速度が上がり、**DOWN** \ominus を押すと印刷速度が低下します。**SELECT** キーを押して、プリンタの設定を確定します。 \equiv **MENU** キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

注記: 付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、「Use current printer settings」(現在のプリンタ設定を使用)オプションが選択されていない場合、ソフトウェアドライバが送出する **SPEED** コマンドがフロントパネルからの設定より優先されることになります。

3.1.1-1.2 Density (濃度):

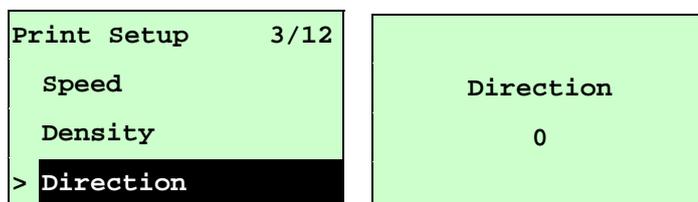


このオプションを使用して印刷濃度を設定します。使用可能な設定は 0 から 15 レベル、増加は 1 レベルごとです。プリンタのデフォルト濃度は 8 ですが、選択したメディア/リボンによって濃度を調整する必要があります。

UP \odot と **DOWN** \ominus を押して印刷濃度を上げ/下げます。**SELECT** キーを押して、設定を確定します。 \equiv **MENU** キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

注記: 付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、「Use current printer settings」(現在のプリンタ設定を使用)オプションが選択されていない場合、ソフトウェアドライバが送出する **DENSITY** コマンドがフロントパネルからの設定より優先されることになります。

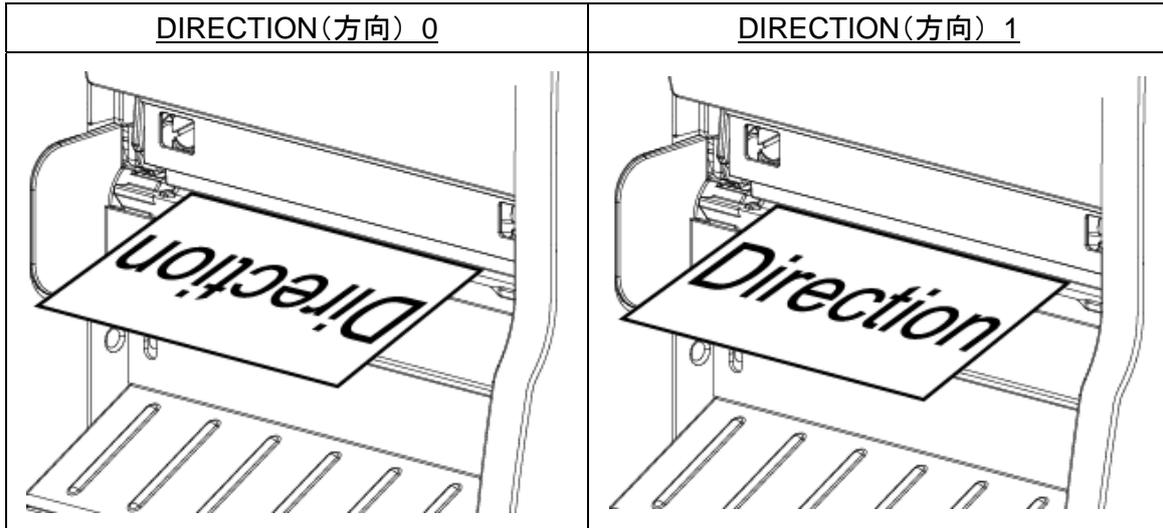
3.1.1-1.3 Direction (方向):



方向設定値は、1 あるいは 0 となります。このオプションを使用して、排紙方向を設定します。プリンタのデフォルトの排紙方向は DIRECTION (方向) 0 です。

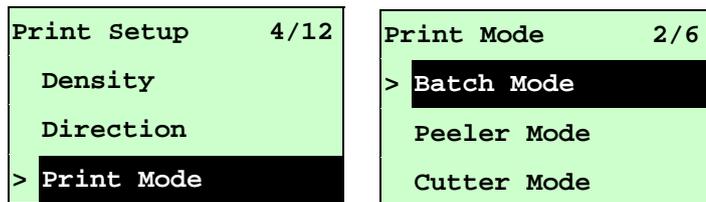
UP \odot キーを押すと方向が1に設定され、**DOWN** \ominus を押すと0に設定されます。**SELECT** キーを押して設定を確定します。 \equiv **MENU** キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

次の2つの図は、DIRECTION(方向) 0 および 1 の印刷結果の参照となっています。



注記: 付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェアドライバが送出する DIRECTION(方向) 0 コマンドが、フロントパネルからの設定より優先されることになります。

3.1.1-1.4 Print Mode (印刷モード): (None(なし)/Batch Mode(バッチモード)/Peeler Mode (ピーラーモード)/Cutter Mode(カッターモード)/Cutter Batch(カッターバッチ))

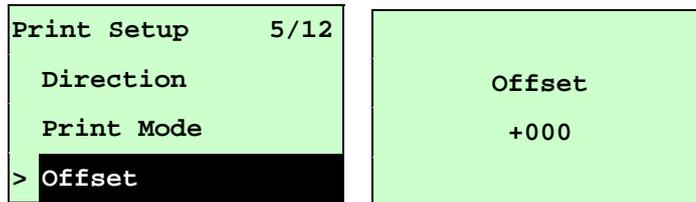


このオプションを使用して印刷モードを設定します。プリンタのデフォルト設定は、Batch Mode (バッチモード)です。このリストに入った際、「>」アイコンの右側にある印刷モードは現在のプリンタ設定を表しています。UP \odot および DOWN \ominus を押して異なる印刷モードを選択し、SELECT ボタンを押して設定を確定します。MENUキーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

印刷モード	説明
None (なし)	次のフォームのラベルトップは、プリンタヘッド焼付けラインの位置に並べられます。(Tear Off Mode(テアオフモード))
Batch Mode (バッチモード)	画像が完全に印刷されると、ラベルギャップ/ブラックマークがテアエッジの位置にフィードされ、ちぎり取りが行われます。
Peeler Mode (ピーラーモード)	ラベルピールオフモードを有効化します。
Cutter Mode (カッターモード)	カッターモードを有効化します。
Cutter Batch (カッターバッチ)	印刷ジョブの終わりにメディアを一度だけ切ります。

注記: 付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェアドライバが送出するコマンドが、フロントパネルからの設定より優先されることになります。

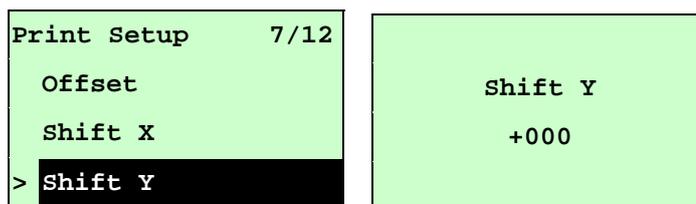
3.1.1-1.5 Offset (オフセット):



このオプションを使用してピーラーモードおよびカッターモード向けにメディアの停止位置を微調整します。**DOWN** \odot ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** \odot ボタンを押して「+」から「-」、または「0」から「9」の間からその値を設定します。**SELECT** ボタンを押して値を確定します。**MENU** キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。デフォルト値は+000です。

注記: 付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェアドライバが送出する **OFFSET** コマンドが、フロントパネルからの設定より優先されることになります。

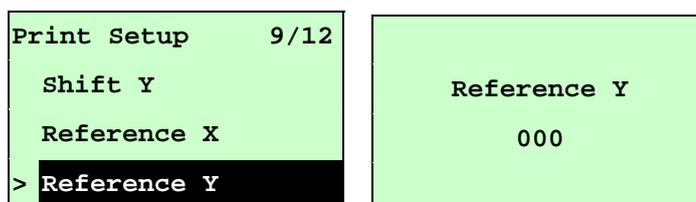
3.1.1-1.6 Shift X & Shift Y (シフト X および シフト Y):



このオプションを使用して印刷位置を微調整します。**DOWN** \odot ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** \odot ボタンを押して「+」から「-」、または「0」から「9」の間からその値を設定します。**SELECT** ボタンを押して値を確定します。**MENU** キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。デフォルト値は+000です。

注記: 付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、「Use current printer settings」(現在のプリンタ設定を使用)オプションが選択されている場合、ソフトウェアドライバが送出する **SHIFT** コマンドがフロントパネルからの設定より優先されることはありません。

3.1.1-1.7 Reference X & Reference Y (基準 X および 基準 Y):



このオプションを使用してプリンタの座標点システムの原点を水平および垂直ともに設定します。**DOWN** \odot ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** \odot ボタンを押して「0」

から「9」の間からその値を設定します。 **SELECT** ボタンを押して値を確定します。 **MENU** キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。 デフォルト値は 000 です。

注記: 付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェアドライバが送出する **REFERENCE** コマンドが、フロントパネルからの設定より優先されることになります。

3.1.1-1.8 Code Page (コードページ):

Print Setup 10/12	Code Page 11/41
Reference X	> 850
Reference Y	852
> Code Page	860

このオプションを使用して、国際文字セットのコードページを設定します。コードページについての詳細は、プログラミング説明書を参照してください。

コードページに入った際、「>」アイコンの右側にあるコードページは現在のプリンタ設定を表しています。

UP  および **DOWN**  を押してコードページを選択し、**SELECT** ボタンを押して設定を確定します。 **MENU** キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

注記: 付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェアドライバが送出するコマンドが、フロントパネルからの設定より優先されることになります。

7ビット		8ビット	
コードページ名	国際文字セット	コードページ数	国際文字セット
USA	USA	437	米国
BRI	英国	850	複数言語
GER	ドイツ語	852	スラブ語
FRE	フランス語	860	ポルトガル語
DAN	デンマーク語	863	カナダ語/フランス語
ITA	イタリア語	865	北部フランス語
SPA	スペイン語		
SWE	スウェーデン語		
SWI	スイス語		

Windows コードページ (SBCS)		Windows コードページ (DBCS)	
コードページ数	国際文字セット	コードページ数	国際文字セット
1252	ラテン 1	950	繁体字中国語 Big5
1250	中欧	936	簡体字中国語 GBK
1253	ギリシャ語	932	日本語 Shift-JIS
1254	トルコ語	949	韓国語
1251	キリル語		
1255	ヘブライ語		
1256	アラビア語		

1257	バルト語派		
1258	ベトナム語		

ISO コードページ		ISO コードページ	
コードページ名	国際文字セット	コードページ数	国際文字セット
8859-1	ラテン 1	8859-7	ギリシャ語
8859-2	ラテン 2	8859-9	トルコ語
8859-3	ラテン 3	8859-10	ラテン 6
8859-4	バルト語派	8859-15	ラテン 9
8859-5	キリル語		

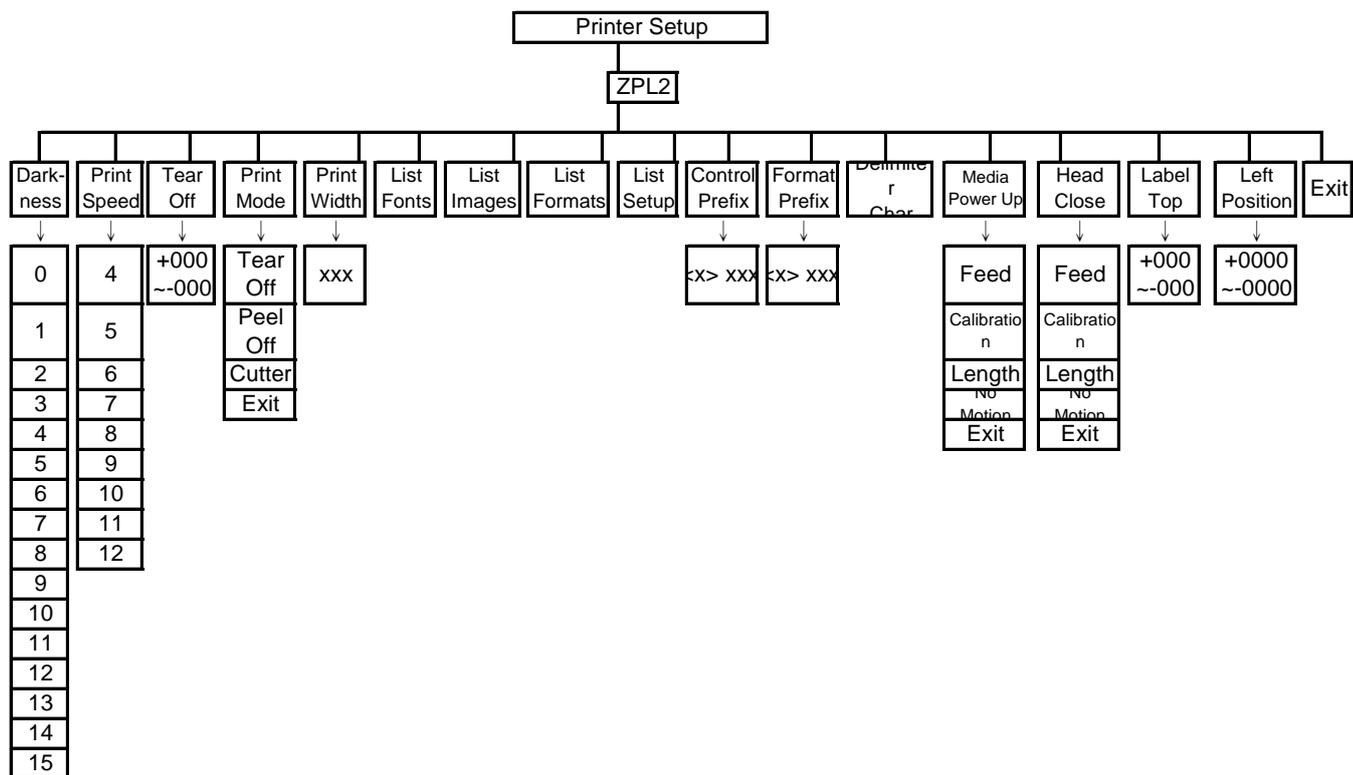
3.1.1-1.9 Country (国):

Print Setup 11/12	Country 1/23
Reference Y	> 001
Code Page	002
> Country	003

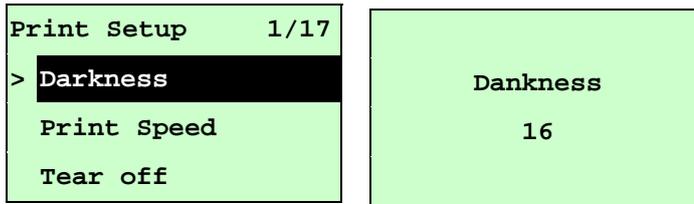
このオプションを使用して、LCD ディスプレイ用の国別コードを設定します。UP \odot および DOWN \ominus ボタンを押して国別コードを選択し、SELECT ボタンを押して選択内容を確定します。このリストに入った際、「>」アイコンの右側にある国別コードは現在のプリンタ設定を表しています。MENU キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

コード	国	コード	国	コード	国	コード	国
001	USA	034	スペイン語 (スペイン)	044	イギリス	055	ブラジル
002	カナダ語/ フランス語	036	ハンガリー語	045	デンマーク語	061	英語 (国際)
003	スペイン語 (南米)	038	ユーゴスラビア語	046	スウェーデン語	351	ポルトガル語
031	オランダ語	039	イタリア語	047	ノルウェー語	358	フィンランド語
032	ベルギー語	041	スイス	048	ポーランド語		
033	フランス語 (フランス語)	042	スロバキア語	049	ドイツ語		

3.1.1-2 Printer Setup (プリンタ設定) (ZPL2)



3.1.1-2.1 Darkness (濃度):

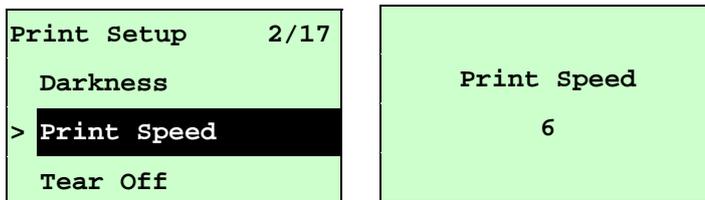


このオプションを使用して印刷濃度を設定します。設定可能な範囲は 0～30 で、各ステップは 1 ずつとなります。プリンタのデフォルトの濃度は 16 です。

UP ⬆ と **DOWN** ⬇ を押して印刷濃度を上げ/下げます。 **SELECT** キーを押して、設定を確定します。 **MENU** キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

注記: 付属のソフトウェア/ドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェア/ドライバが送出するコマンドが、フロントパネルからの設定より優先されることになります。

3.1.1-2.2 Print Speed (印刷速度):

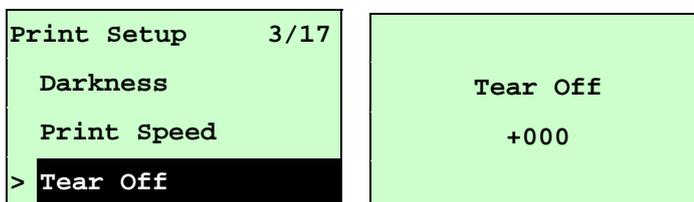


このオプションを使用して印刷速度を設定します。各増加/減少は 1ips ごとです。

UP ⬆ キーを押すと印刷速度が上がり、**DOWN** ⬇ を押すと印刷速度が低下します。 **SELECT** キーを押して、プリンタの設定を確定します。 **MENU** キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

注記: 付属のソフトウェア/ドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェア/ドライバが送出するコマンドが、フロントパネルからの設定より優先されることになります。

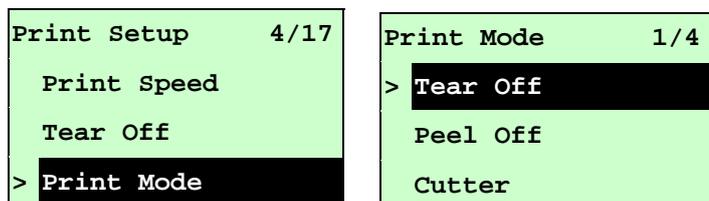
3.1.1-2.3 Tear Off (テアオフ):



このオプションを使用してメディアの停止位置を微調整します。 **DOWN** ⬇ ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** ⬆ ボタンを押して「+」から「-」、または「0」から「9」の間からその値を設定します。 **SELECT** ボタンを押して値を確定します。 **MENU** キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。 デフォルト値は+000です。

注記: 付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェアドライバが送出するコマンドが、フロントパネルからの設定より優先されることになります。

3.1.1-2.4 Print Mode (印刷モード): (Tear Off(テアオフ) / Peel Off(ピールオフ) / Cutter(カッター)):



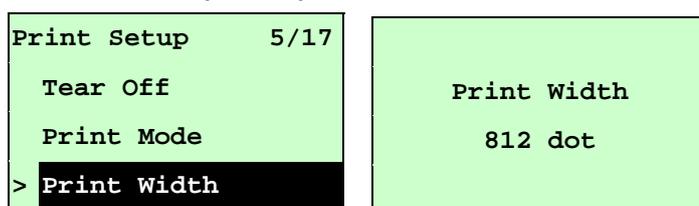
このオプションを使用して印刷モードを設定します。プリンタのデフォルト設定は、Tear Off (テアオフ)です。このリストに入った際、「>」アイコンの右側にある印刷モードは現在のプリンタ設定を表しています。

UP および **DOWN** を押して異なる印刷モードを選択し、**SELECT** ボタンを押して設定を確定します。 **MENU** キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

印刷モード	説明
Tear Off (テアオフ)	次のフォームのラベルトップは、プリンタヘッド焼付けラインの位置に並べられます。
Peel Off (ピールオフ)	ラベルピールオフモードを有効化します。
Cutter (カッター)	ラベルカッターモードを有効化します。

注記: 付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェアドライバが送出するコマンドが、フロントパネルからの設定より優先されることになります。

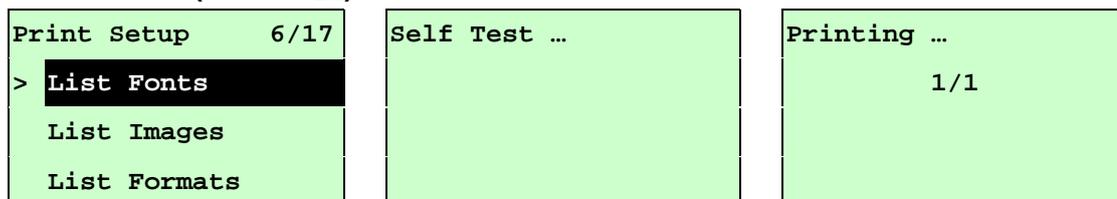
3.1.1-2.5 Print Width (印刷幅):



このオプションを使用して印刷幅を設定します。**DOWN** ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** ボタンを押して「0」から「9」または「dot」(ドット)から「mm」(ミリ)の間からその値を設定します。**SELECT** ボタンを押して値を確定します。 **MENU** キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

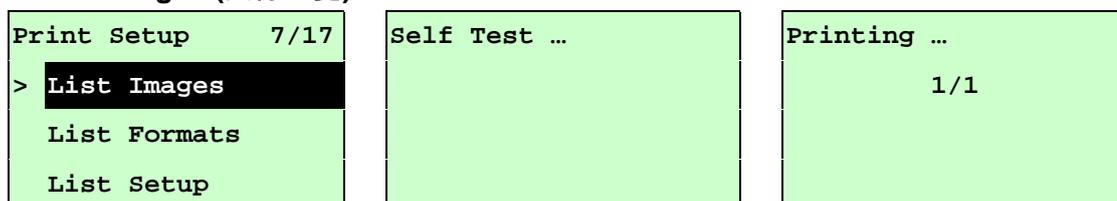
注記: 付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェアドライバが送出するコマンドが、フロントパネルからの設定より優先されることになります。

3.1.1-2.6 List Fonts (フォント一覧):



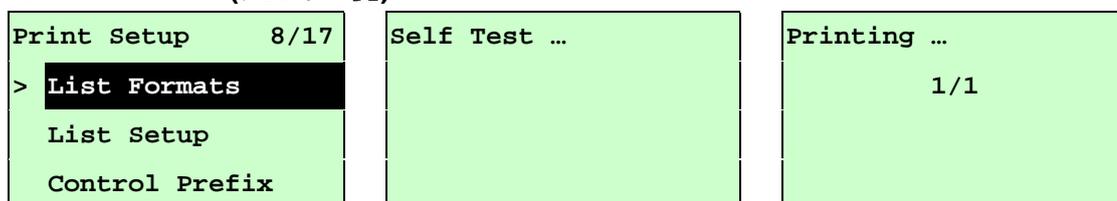
この機能を使用して、現在プリンタで使用できるフォントのリストをラベルに印刷します。フォントはプリンタの DRAM、Flash あるいはオプションのメモ리카ードに保存されています。 **SELECT** ボタンを押してリストを印刷します。

3.1.1-2.7 List Images (画像一覧):



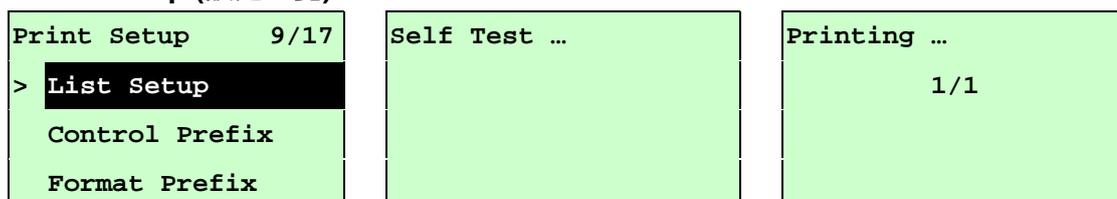
この機能を使用して、現在プリンタで使用できる画像のリストをラベルに印刷します。画像はプリンタの DRAM、Flash あるいはオプションのメモ리카ードに保存されています。 **SELECT** ボタンを押してリストを印刷します。

3.1.1-2.8 List Formats (フォーマット一覧):



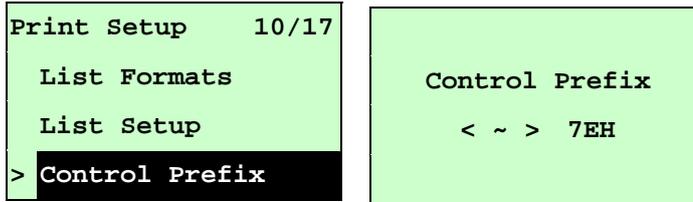
この機能を使用して、現在プリンタで使用できるフォーマットのリストをラベルに印刷します。フォーマットはプリンタの DRAM、Flash あるいはオプションのメモ리카ードに保存されています。 **SELECT** ボタンを押してリストを印刷します。

3.1.1-2.9 List Setup (設定一覧):



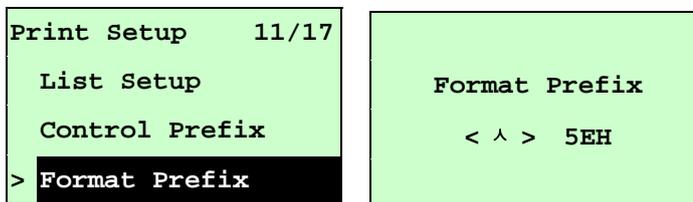
この機能を使用して、現在のプリンタ構成をラベルに印刷します。 **SELECT** ボタンを押してリストを印刷します。

3.1.1-2.10 Control Prefix (コントロールプレフィックス):



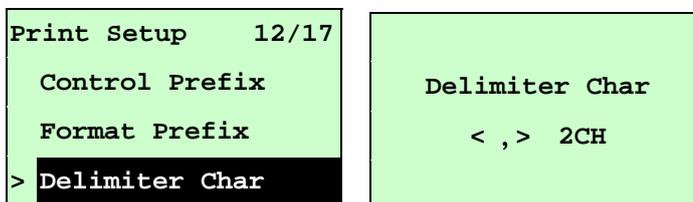
このオプションを使用してコントロールプレフィックス文字を設定します。 **DOWN** ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** ボタンを押して「0」から「9」または「A」から「F」の間からその値を設定します。 **SELECT** ボタンを押して値を確定します。 **MENU** キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

3.1.1-2.11 Format Prefix (フォーマットプレフィックス):



このオプションを使用してフォーマットプレフィックス文字を設定します。 **DOWN** ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** ボタンを押して「0」から「9」または「A」から「F」の間からその値を設定します。 **SELECT** ボタンを押して値を確定します。 **MENU** キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

3.1.1-2.12 Delimiter Char (区切り文字):



このオプションを使用して区切り文字を設定します。 **DOWN** ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** ボタンを押して「0」から「9」または「A」から「F」の間からその値を設定します。 **SELECT** ボタンを押して値を確定します。 **MENU** キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

3.1.1-2.13 Media Power Up (電源投入時メディア):

Print Setup 13/17	Media Power U 4/5
Format Prefix	Length
Delimiter Char	> No Motion
> Media Power Up	Exit

このオプションを使用してプリンタの電源をオンにした際のメディアのアクションを設定します。プリンタのデフォルト設定は、「No Motion」(アクションなし)です。このリストに入った際、「>」アイコンの右側にある印刷モードは現在のプリンタ設定を表しています。UP  および DOWN  を押して異なる印刷モードを選択し、SELECT ボタンを押して設定を確定します。MENU キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

選択肢	説明
Feed (フィード)	プリンタはラベルをひとつ進めます
Calibration (較正)	プリンタはセンサーのレベルを較正し、長さを決定してラベルをフィードします
Length (長さ)	プリンタは長さを決定してラベルをフィードします
No Motion (アクションなし)	プリンタはメディアを動かしません

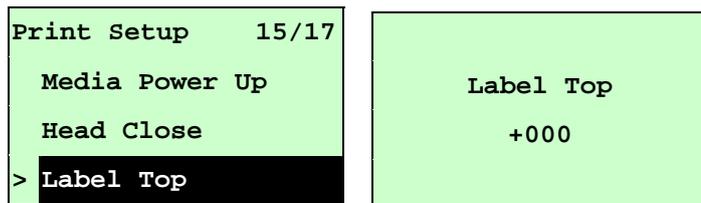
3.1.1-2.14 Head Close (ヘッドクローズ):

Print Setup 14/17	Head Close 4/5
Delimiter Char	Length
Media Power Up	> No Motion
> Head Close	Exit

このオプションを使用してプリンタのヘッドを閉じた際のメディアのアクションを設定します。プリンタのデフォルト設定は、「No Motion」(アクションなし)です。このリストに入った際、「>」アイコンの右側にある印刷モードは現在のプリンタ設定を表しています。UP  およびDOWN  を押して異なる印刷モードを選択し、SELECT ボタンを押して設定を確定します。MENU キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

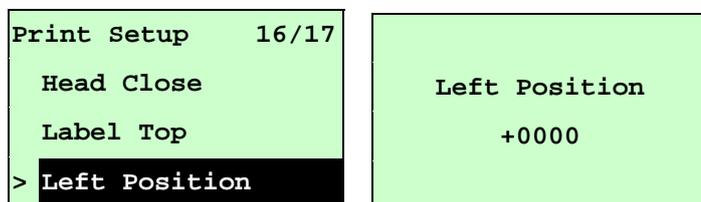
選択肢	説明
Feed (フィード)	プリンタはラベルをひとつ進めます
Calibration (較正)	プリンタはセンサーのレベルを較正し、長さを決定してラベルをフィードします
Length (長さ)	プリンタは長さを決定してラベルをフィードします
No Motion (アクションなし)	プリンタはメディアを動かしません

3.1.1-2.15 Label Top (ラベルトップ):



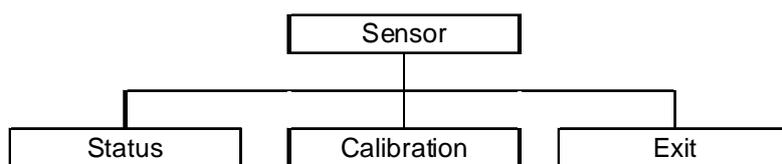
この機能を使用して、ラベルの垂直方向における印刷位置を調整します。 **DOWN** ④ ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** ⑤ ボタンを押して「+」から「-」、または「0」から「1/2」の間からその値を設定します。 **SELECT** ボタンを押して値を確定します。 **MENU** キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。 デフォルト値は+000、幅は-120から+120ドットです。

3.1.1-2.16 Left Position (左位置):



この機能を使用して、ラベルの水平方向における印刷位置を調整します。 **DOWN** ④ ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** ⑤ ボタンを押して「+」から「-」、または「0」から「9」の間からその値を設定します。 **SELECT** ボタンを押して値を確定します。 **MENU** キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。 デフォルト値は+0000、幅は-9999から+9999ドットです。

3.1.2 Sensor (センサー)



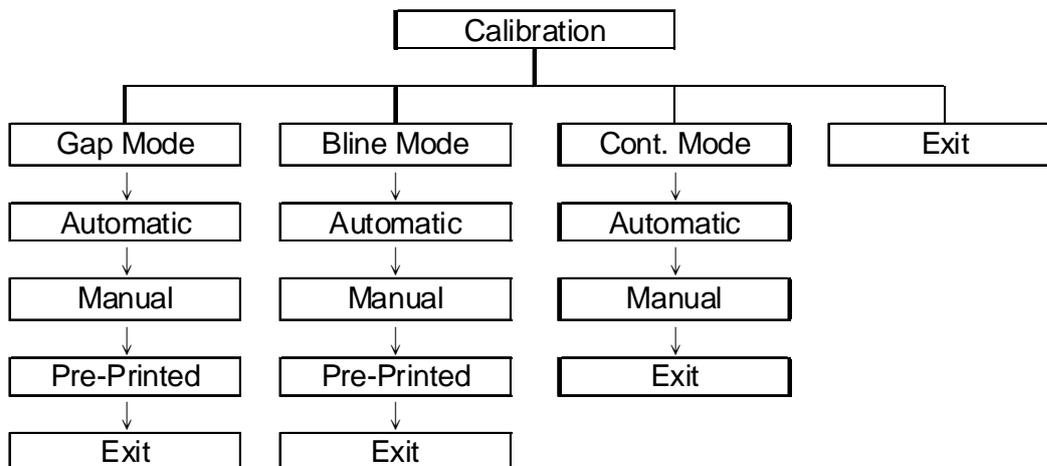
3.1.2.1 Status (ステータス)

プリンタのセンサーステータスを確認する際に使用する機能です。 [Status](ステータス) オプションに入った際、次のメッセージが表示されます。

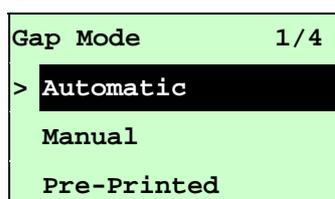
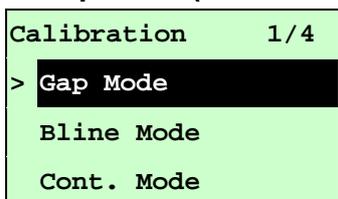
Paper Len.	812
Gap Size	24
Intensity	3
Ref. Level	512

3.1.2.2 Calibration (校正)

この機能を使用して、メディアセンサーのタイプをセットし、選択したセンサーを校正します。メディアを変更した際は、印刷の前にセンサーを校正することが推奨されます。



A. Gap Mode (ギャップモード)

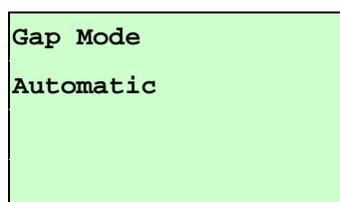


UP \odot および DOWN \ominus ボタンを押してメディアタイプまでカーソルをスクロールし、SELECT ボタンを押してセンサー校正モードに入ります。

注記: 付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェアドライバが送出するギャップあるいは B ラインコマンドが、フロントパネルからのセンサーの種類設定より優先されることとなります。

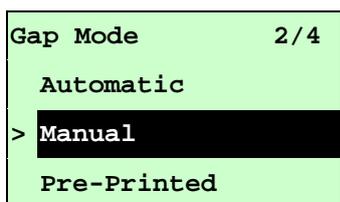
A-1 Automatic (自動)

[Automatic](自動) オプションに入ると、次のようなメッセージが表示され、プリンタは 2~3 ギャップのラベルをフィードしてセンサー感度を自動的に校正します。校正が完了すると、LCD 画面は前のメニューに戻ります。



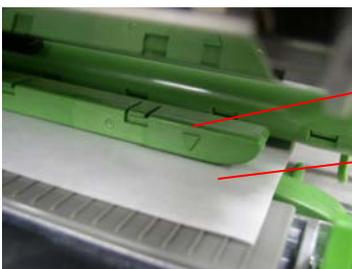
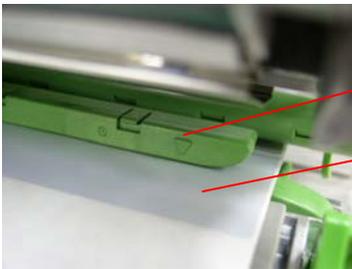
A-2 Manual (手動)

「Automatic」(自動) センサー校正がメディアに適用できない場合は、「Manual」(手動) 機能を使用してギャップセンサーを手動で構成してください。



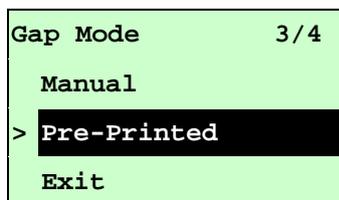
[Manual](手動) オプションに入った際、次のメッセージが表示されます。次の手順を完了してください:

<p>Paper Len. 00812 dot</p>	<ol style="list-style-type: none">1. DOWN \ominus ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、UP \odot ボタンを押して「0」から「9」または「dot(ドット)/mm(ミリ)/inch(インチ)」の間からその値を設定します。SELECT ボタンを押して用紙の長さの設定を確定します。
---------------------------------	--

<p style="text-align: center;">Gap Size 0024 dot</p>	<p>2. DOWN  ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、UP  ボタンを押して「0」から「9」または「dot(ドット)/mm(ミリ)/inch(インチ)」の間からその値を設定します。SELECT ボタンを押してギャップサイズの設定を確定します。</p>
<p>Gap Mode Scan Backing Intensity x Ref. Level xxx</p>	<p>3. プリンタヘッド機構を開け、ラベルの裏紙(ライナー)をメディアセンサーの下に配置します。SELECT ボタンを押して値を確定します。</p>
	<p style="text-align: right;">メディアセンサーの位置 ライナー裏紙(ライナー)</p>
<p>Gap Mode Scan Paper Intensity x Ref. Level xxx</p>	<p>4. その後、ライナー付ラベルをメディアセンサーの下に配置します。SELECT ボタンを押して値を確定します。</p>
	<p style="text-align: right;">メディアセンサーの位置 ライナー付ラベル</p>
<p>Gap Mode Complete Intensity x Ref. Level xxx</p>	<p>5. ギャップセンサー較正が完了します。SELECT ボタンを押すと、LCD 画面は前のメニューに戻ります。</p>

A-3 Pre-Printed (プレ印刷)

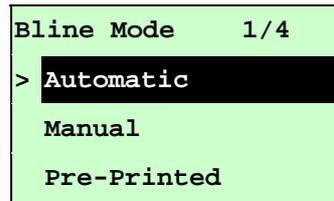
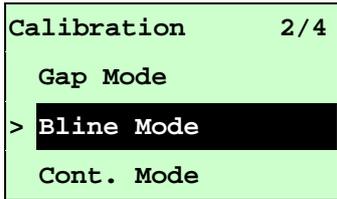
この機能では、センサー感度の自動較正の前に用紙長さおよびギャップサイズを設定する必要があります。これにより、プレ印刷メディアに対しセンサー感度をより正確に決定することができます。



[Pre-Printed](プレ印刷) オプションに入った際、次のメッセージが表示されます。次の手順を完了してください:

<pre> Paper Len. 00812 dot </pre>	<p>1. DOWN ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、UP ボタンを押して「0」から「9」または「dot(ドット)/mm(ミリ)/inch(インチ)」の間からその値を設定します。 SELECT ボタンを押して用紙の長さの設定を確定します。</p>
<pre> Gap Siz 0024 dot </pre>	<p>2. DOWN ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、UP ボタンを押して「0」から「9」または「dot(ドット)/mm(ミリ)/inch(インチ)」の間からその値を設定します。 SELECT ボタンを押してギャップサイズの設定を確定します。</p>
<pre> Gap Mode Pre-Printed </pre>	<p>3. その後、プリンタはラベルをフィードしてセンサー感度を自動的に校正します。校正が完了すると、LCD 画面は前のメニューに戻ります。</p>

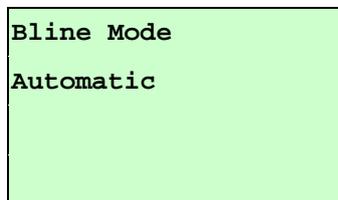
B. Bline Mode (B ラインモード)



UP および DOWN ボタンを押してカーソルをセンサーの種類にスクロールします。SELECT ボタンを押してブラックマークセンサー校正モードを入力します。

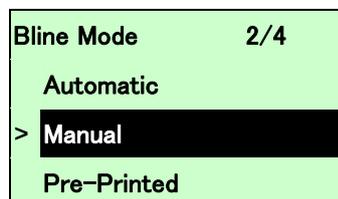
B-1 Automatic (自動)

[Automatic](自動) オプションに入ると、次のようなメッセージが表示され、プリンタはブラックマークラベルをフィードしてセンサー感度を自動的に校正します。校正が完了すると、LCD 画面は前のメニューに戻ります。



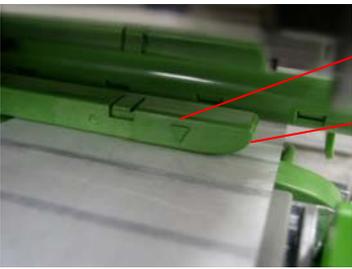
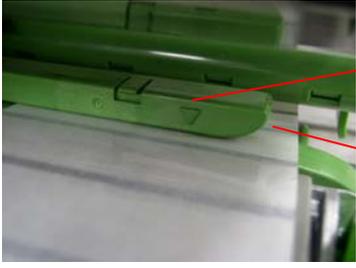
B-2 Manual (手動)

「Automatic」(自動)センサー校正がメディアに適用できない場合は、「Manual」(手動)機能を使用して B ラインセンサーを手動で構成してください。



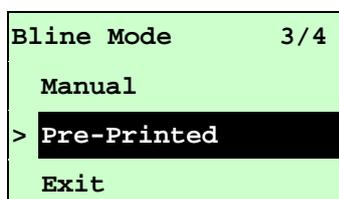
[Manual](手動) オプションに入った際、次のメッセージが表示されます。次の手順を完了してください:

<p>Paper Len. 00151 dot</p>	1. DOWN ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、UP ボタンを押して「0」から「9」または「dot(ドット)/mm(ミリ)/inch(インチ)」の間からその値を設定します。SELECT ボタンを押して用紙の長さの設定を確定します。
<p>Bline Size 0024 dot</p>	2. DOWN ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、UP ボタンを押して「0」から「9」または「dot(ドット)/mm(ミリ)/inch(インチ)」の間からその値を設定します。SELECT ボタンを押して B ラインの長さの設定を確定します。

<pre> Bline Mode Scan Mark Intensity x Ref. Level xxx </pre>	<p>3. プリンタヘッド機構を開け、ブラックマークをメディアセンサーの下に配置します。 SELECT ボタンを押して値を確定します。</p>
	<p>メディアセンサー ブラックマーク</p>
<pre> Bline Mode Scan Paper Intensity x Ref. Level xxx </pre>	<p>4. その後、ブラックセンサーのないラベルをメディアセンサーの下に配置します。 SELECT ボタンを押して値を確定します。</p>
	<p>メディアセンサー ブラックマークのないラベル</p>
<p>注記: 通常、マークの「Ref. Level」(基準レベル)の値は用紙よりも 128 以上大きくなります。メディアセンサーがこのように感知しない場合、UP  および DOWN  を押して手動で強度をそれ以上の値にする必要があります。</p>	
<pre> Bline Mode Complete Intensity x Ref. Level xxx </pre>	<p>5. B ラインセンサー較正が完了します。 SELECT ボタンを押すと、LCD 画面は前のメニューに戻ります。</p>

B-3 Pre-Printed (プレ印刷)

この機能では、センサー感度の自動較正の前に用紙長さおよびギャップサイズを設定する必要があります。これにより、プレ印刷メディアに対しセンサー感度をより正確に決定することができます。



[Pre-Printed](プレ印刷) オプションに入った際、次のメッセージが表示されます。次の手順を完了してください:

<p style="text-align: center;">Paper Len. 00812 dot</p>	<p>1. DOWN  ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、UP  ボタンを押して「0」から「9」または「dot(ドット)/mm(ミリ)/inch(インチ)」の間からその値を設定します。SELECT ボタンを押して用紙の長さの設定を確定します。</p>
<p style="text-align: center;">Bline Size 0024 dot</p>	<p>2. DOWN  ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、UP  ボタンを押して「0」から「9」または「dot(ドット)/mm(ミリ)/inch(インチ)」の間からその値を設定します。SELECT ボタンを押して B ラインの長さの設定を確定します。</p>
<p>Bline Mode Pre-Printed</p>	<p>3. その後、プリンタはラベルをフィードしてセンサー感度を自動的に校正します。校正が完了すると、LCD 画面は前のメニューに戻ります。</p>

C. Cont. Mode (連続モード)

```
Calibration      3/4
  Bline Mode
> Cont. Mode
  Exit
```

```
Cont. Mode      1/3
> Automatic
  Manual
  Exit
```

UP \odot および DOWN \ominus ボタンを押してカーソルをセンサーの種類にスクロールします。SELECT ボタンを押してブラックマークセンサー較正モードを入力します。

C-1 Automatic (自動)

[Automatic](自動) オプションに入ると、次のようなメッセージが表示され、プリンタはセンサー感度を自動的に較正します。較正が完了すると、LCD 画面は前のメニューに戻ります。

```
Cont. Mode
Automatic
```

C-2 Manual (手動)

「Automatic」(自動)センサー較正がメディアに適用できない場合は、「Manual」(手動)機能を使用しセンサーを手動で構成してください。

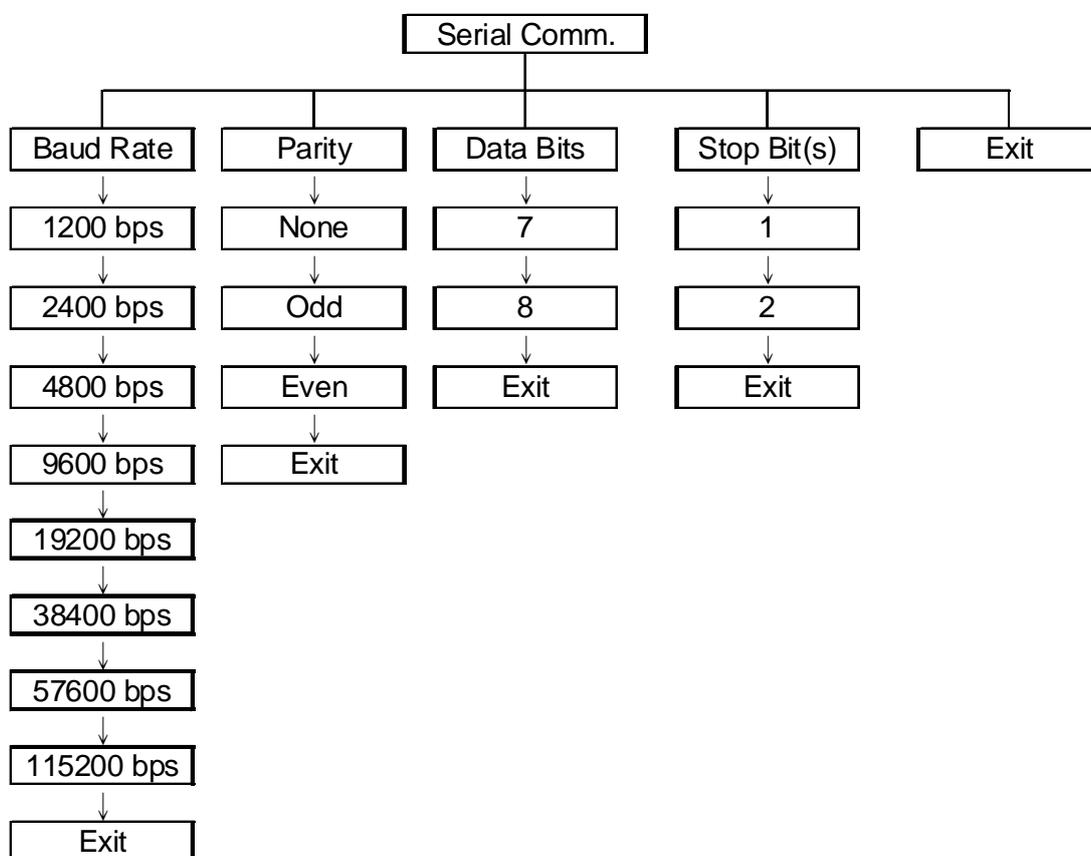
```
Cont. Mode      2/3
  Automatic
> Manual
  Exit
```

[Manual](手動) オプションに入った際、次のメッセージが表示されます。次の手順を完了してください:

<pre>Cont. Mode Remove Label Intensity x Ref. Level xxx</pre>	1. 連続ラベルを取り除いてください。 SELECT ボタンを押して値を確定します。
<pre>Cont. Mode Scan Paper Intensity x Ref. Level xxx</pre>	2. その後、連続ラベルをメディアセンサーの下に配置します。 SELECT ボタンを押して値を確定します。

Cont. Mode Complete Intensity x Ref. Level xxx	3. センサー較正が完了します。 SELECT ボタンを押すと、LCD 画面は前のメニューに 戻ります。
--	---

3.1.3 Serial Comm. (シリアル通信)



3.1.3.1 Baud Rate (ボーレート)

Serial Comm. 1/5	Baud Rate 4/9
> Baud Rate	> 9600 bps
Parity	19200 bps
Data Bits	38400 bps

このオプションを使用して RS-232 ボーレートを設定します。デフォルト値は 9600bps です。

UP  あるいは **DOWN**  ボタンを押してボーレートを選択し、**SELECT** ボタンを押して選択内容を確定します。このリストに入った際、「>」アイコンの右側にあるボーレートの値は現在のプリンタ設定を表しています。  **MENU** キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

3.1.3.2 Parity (パリティ)

Serial Comm. 2/5	Parity 1/4
Baud Rate	> None
> Parity	Odd
Data Bits	Even

このオプションを使用して RS-232 パリティを設定します。デフォルト値は「None」(なし)です。 **UP**  および **DOWN**  ボタンを押してパリティを選択し、**SELECT** ボタンを押して選択内容を確定します。このリストに入った際、「>」アイコンの右側にあるパリティは現在のプリンタ設定を表しています。

 **MENU** キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

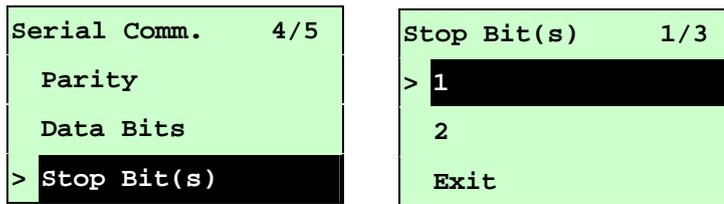
3.1.3.3 Data Bits (データビット):

Serial Comm. 3/5	Data Bits 2/3
Baud Rate	7
Parity	> 8
> Data Bits	Exit

このオプションを使用して RS-232 データビットを設定します。デフォルト値は「8」データビットです。

UP  および **DOWN**  ボタンを押してデータビットを選択し、**SELECT** ボタンを押して選択内容を確定します。このリストに入った際、「>」アイコンの右側にあるデータビットは現在のプリンタ設定を表しています。  **MENU** キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

3.1.3.4 Stop Bit(s) (ストップビット):



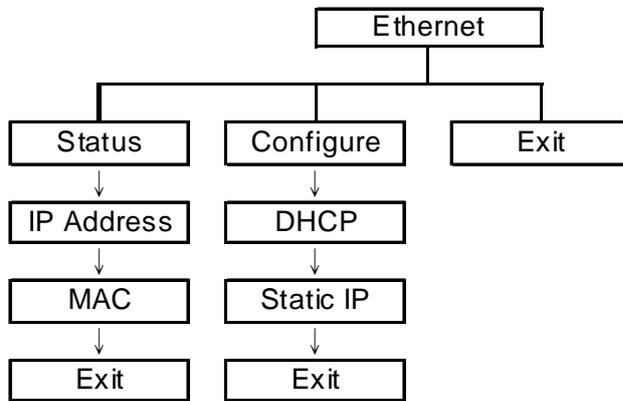
このオプションを使用して RS-232 ストップビットを設定します。デフォルト値は「1」ストップビットです。

UP  および **DOWN**  ボタンを押してストップビットを選択し、**SELECT** ボタンを押して選択内容を確認します。このリストに入った際、「>」アイコンの右側にあるオプションは現在のプリンタ設定を表しています。 **MENU**キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。

3.1.4 Ethernet (イーサネット)

このメニューを使用して、内蔵イーサネット構成を設定、プリンタのイーサネットモジュールステータスの確認、またイーサネットモジュールのリセットを行うことができます。イーサネットカードが取り付けられている場合、LCDディスプレイでのこの機能のご利用が可能です。

UP  および **DOWN**  ボタンを押してオプションを選択し、**SELECT** ボタンを押してオプションを確定します。 **MENU** キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。



3.1.4.1 Status (ステータス): (IP Address(IP アドレス) / MAC):

このメニューを使用してイーサネット設定ステータスを確認することができます。

3.1.4.1.1 IP Address (IP アドレス)

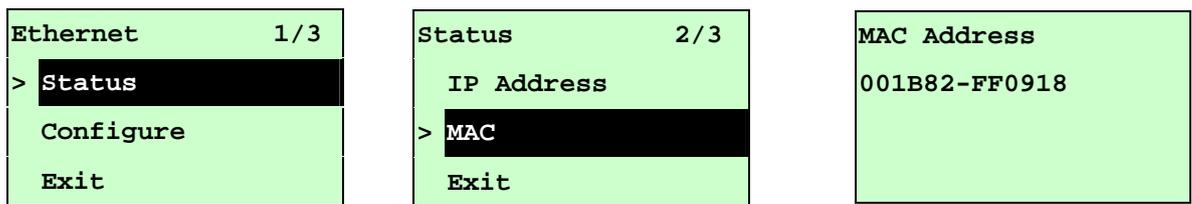
```
Ethernet 1/3
> Status
Configure
Exit
```

```
Status 1/3
> IP Address
MAC
Exit
```

```
IP Address
0.0.0.0
Subnet Mask
0.0.0.0
Gateway
0.0.0.0
```

IP アドレス情報が LCD ディスプレイに表示されます。 **SELECT** あるいは  **MENU** ボタンを押すと前のメニューに戻ります。

3.1.4.1.2 MAC

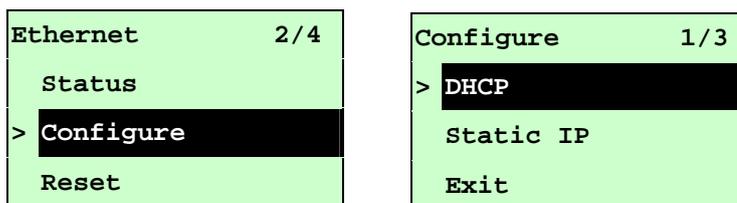


MAC アドレス情報が LCD ディスプレイに表示されます。 **SELECT** あるいは  **MENU** ボタンを押すと前のメニューに戻ります。

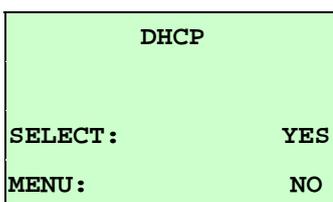
3.1.4.2 Configure (構成): (DHCP / Static IP(スタティック IP)):

このメニューを使用してプリンタの DHCP およびスタティック IP を設定します。

3.1.4.2.1 DHCP



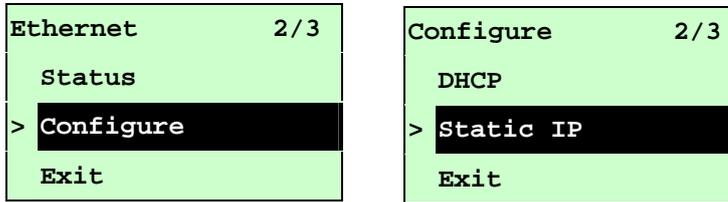
UP  および **DOWN**  ボタンを押して DHCP 機能を選択し、**SELECT** を押してメニューに入ります。  **MENU** キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。



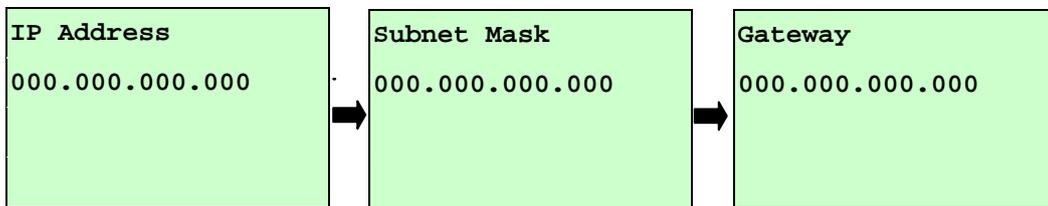
SELECT ボタンを押すとプリンタは DHCP を設定し、設定をリセットするため再起動します。
 **MENU** ボタンを押すと前のメニューに戻ります。

3.1.4.2.2 Static IP (スタティック IP)

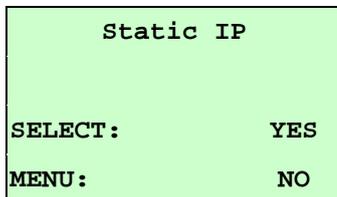
このメニューを使用してプリンタの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。



UP および **DOWN** ボタンを押してオプションを選択し、**SELECT** ボタンを押してオプションを確定します。 **MENU** キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。



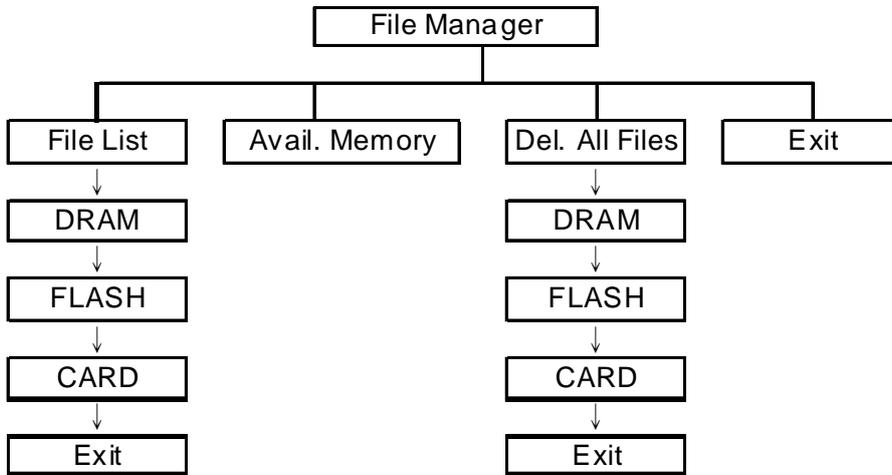
DOWN ボタンを押して左のデジットから右のデジットにカーソルを移動し、**UP** ボタンを押して「0」から「9」の間でその値をスクロールします。 **SELECT** ボタンを押して次の設定に移動します。



SELECT ボタンを押すとプリンタは再起動して、イーサネットモジュール設定をリセットします。設定をキャンセルするには **MENU** キーを押します。

3.2 File Manager (ファイルマネージャ)

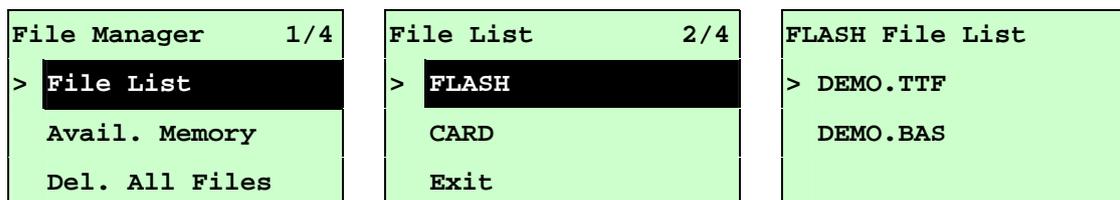
この機能を使用して、現在プリンタで使用できるメモリおよびファイルリストを確認します。



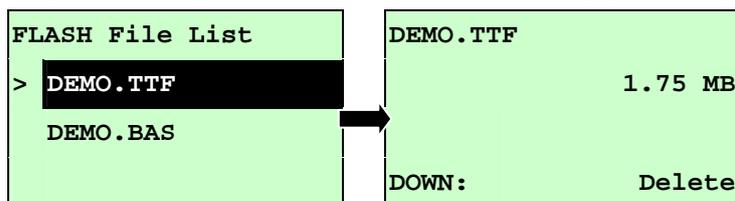
3.2.1 File List (ファイルリスト)

このメニューを使用して、プリンタ DRAM/Flash/カードメモリに保存されたファイルを表示、削除、実行 (.BAS) することができます。

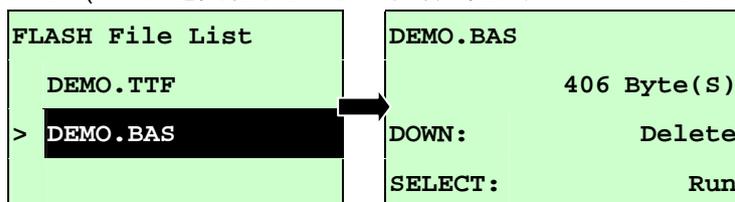
ファイルを表示するには：



ファイルを削除するには：手順に従い、**DOWN**  ボタンを押します。



ファイル(.BAS)を実行するには：手順に従い、**SELECT** ボタンを押します。



3.2.2 Avail. Memory (利用可能なメモリ)

このメニューを使用してメモリの空きスペースを表示します。

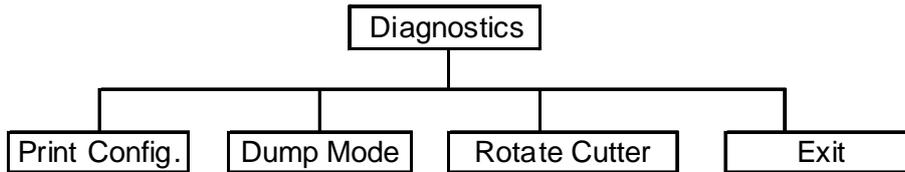
File Manager 2/4	Avail. Memory
File List	DRAM: 256 KB
> Avail. Memory	FALSH: 6656 KB
Del. All Files	CARD: 0 KB

3.2.3 Del. All Files (すべてのファイルを削除)

このメニューを使用してすべてのファイルを削除します。 **SELECT** ボタンを押してデバイス内のすべてのファイルを削除します。ファイルの削除をキャンセルするには **MENU** キーを押して前のメニューに戻ります。

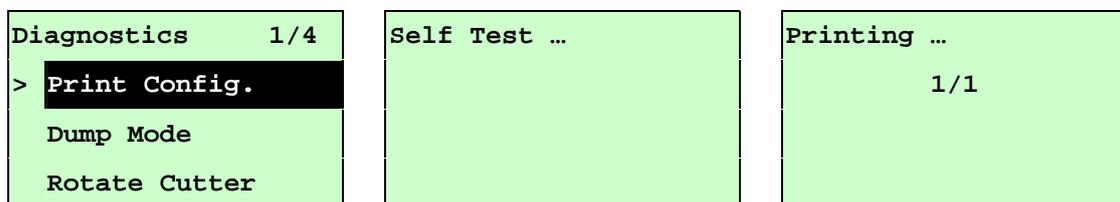
File Manager 3/4	File List 1/4	Del. All Files
File List	> DRAM	
Avail. Memory	FALSH	SELECT: YES
> Del. All File	CARD	MENU: NO

3.3 Diagnostics (診断)



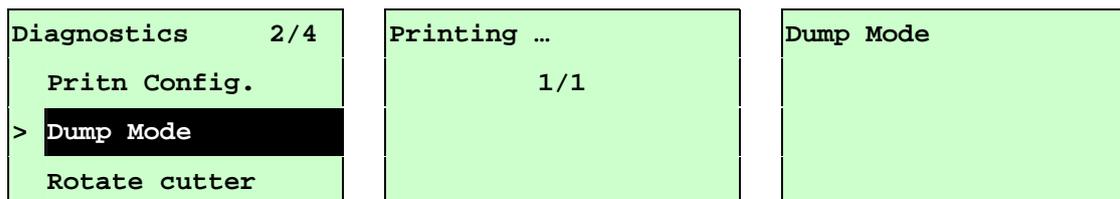
3.3.1 Print Config. (印刷構成)

この機能を使用して、現在のプリンタ構成をラベルに印刷します。構成印刷にはプリンタヘッドテストパターンが印刷され、プリンタヘッドのヒーター部位にドットの破損があるかを確認する役に立ちます。（セクション 4.2 を参照してください。）



3.3.2 Dump Mode (ダンプモード)

通信ポートからデータを取り入れ、プリンタが受信したデータを印刷します。ダンプモードでは、すべての文字が次のように 2 列に印刷されます。左側の文字はお客様のシステムから受け取られたもので、右側のデータは文字に対応する 16 進値です。これにより、ユーザーやエンジニアはプログラムを検証しデバッグできるようになります。（セクション 4.2 を参照してください）



注記:

1. *Dump mode (ダンプモード)*は幅 4 インチの用紙幅を必要とします。
2. 通常印刷でプリンタを再開するには、電源をオフオンにします。
3. フィードボタンを押すと前のメニューに戻ります。

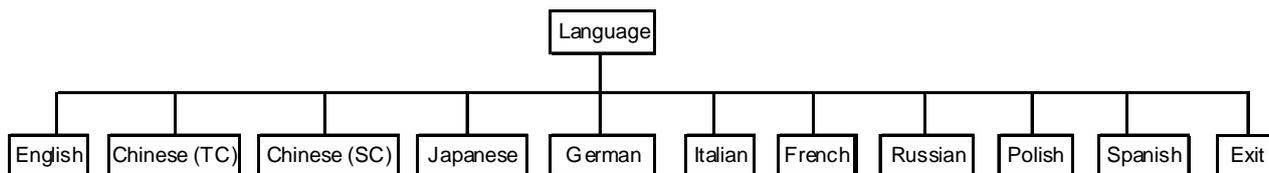
3.3.3 Rotate Cutter (回転カッター)

カッター内で用紙が詰まった場合に、この機能によりカッター刃を前方あるいは後方に回転させ、詰まった紙を容易に取り除き易くします。

```
Diagnostics      3/4
Print Config.
Dump Mode
> Rotate Cutter
```

```
UP:              Fwd.
DOWN:            Rev.
MENU:            Exit
```

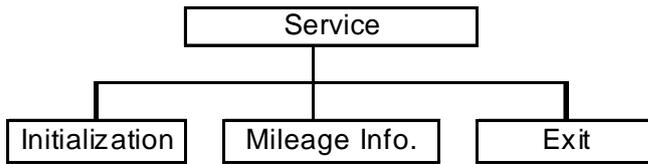
3.4 Language (言語)



このオプションを使用して LCD ディスプレイの言語を設定します。

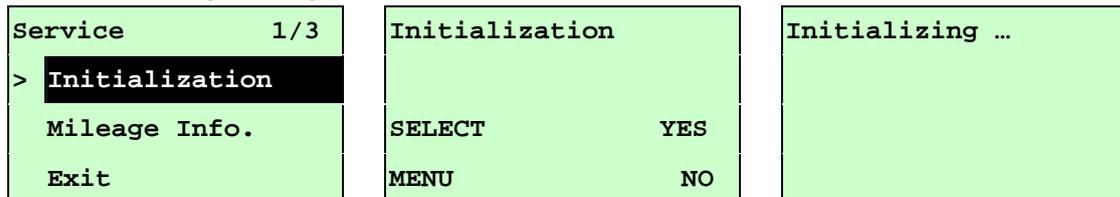
UP  および **DOWN**  ボタンを押して希望の言語までカーソルを移動し、**SELECT** ボタンを押してオプションを確定します。  **MENU** キーを押して設定をキャンセルし前のメニューに戻ります。デフォルト言語設定は英語です。

3.5 Service (サービス)



この機能を使用してプリンタ設定を初期設定に戻し、プリンタマイレージ情報を表示します。

3.5.1 Initialization (初期化)



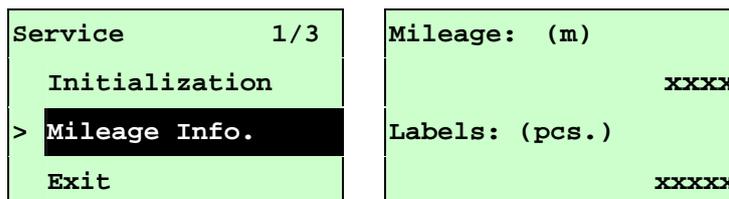
プリンタを初期化すると、プリンタ設定は初期設定に戻されます。(初期設定についてはセクション 4.2 を参照してください。)

注記:

プリンタ初期化が完了した後は、印刷前にギャップあるいはブラックマークセンサーを較正してください。

3.5.2 Mileage Info. (マイレージ情報)

このオプションを使用して印刷したマイレージを確認することができます(メートルで表示)。

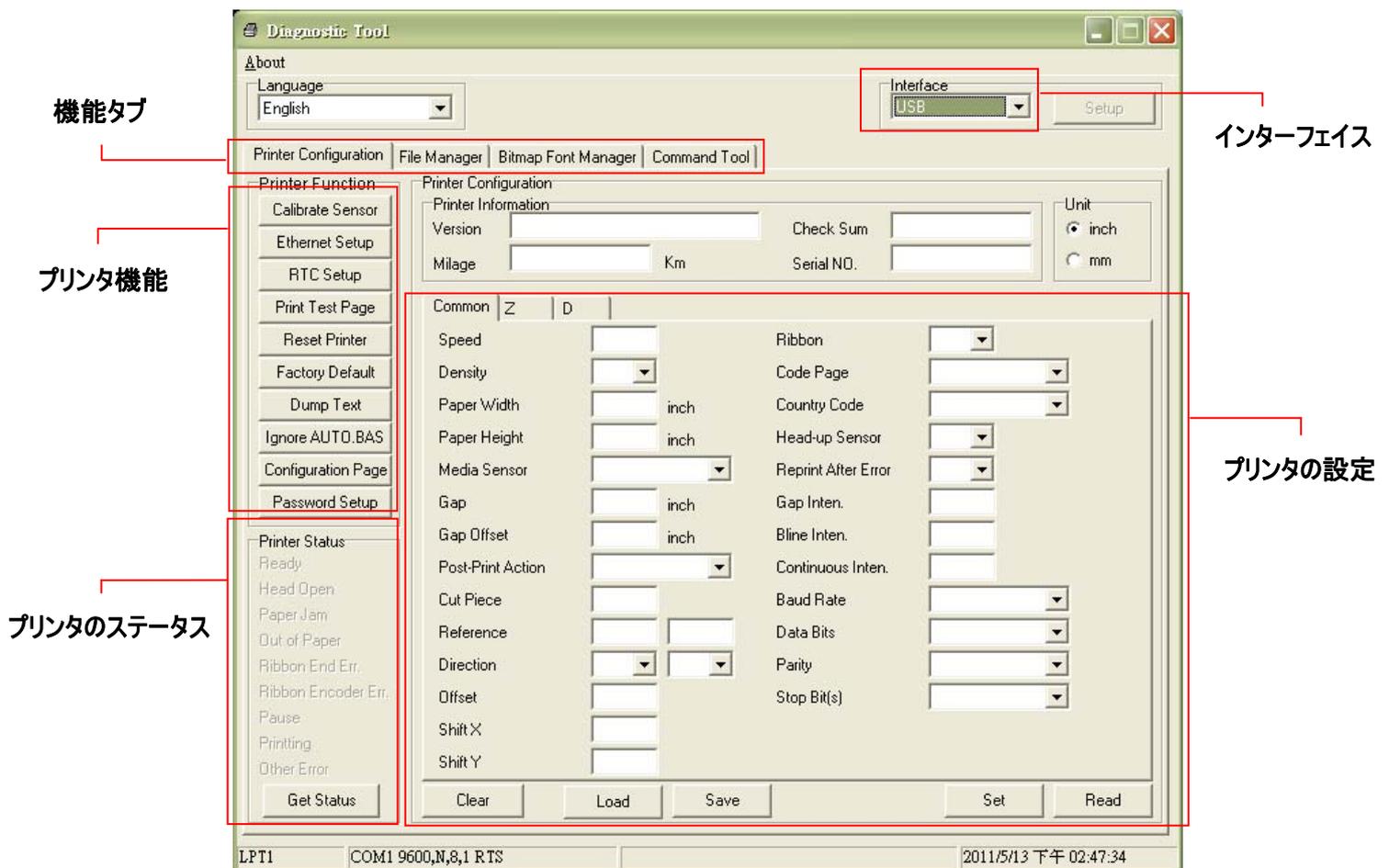


4. 診断ツール

TSC の診断ユーティリティは、ユーザーがプリンタの設定や状態の検索、プリンタ設定の変更、グラフィックやフォント、ファームウェアのダウンロード、プリンタのビットマップフォントの作成、追加のコマンドのプリンタへの送信などを実行できる機能をまとめた統合ツールです。この強力なツールにより、ユーザーはプリンタのステータスや設定を瞬時に確認できるため、問題点のトラブルシューティングが容易になります。

4.1 診断ツールの開始

1. Diagnostic(診断)ツールアイコンをダブルクリックすると、 **DiagTool.exe** ソフトウェアが起動します。
2. 診断ユーティリティには 4 つの機能 (Printer Configuration(プリンタ構成), File Manager(ファイルマネージャー), Bitmap Font Manager(ビットマップフォントマネージャー), Command Tool(コマンドツール)) が含まれます。



4.2 プリンタ機能

1. バーコードプリンタに接続された PC インターフェイスを選択します。
2. 「Printer Function」(プリンタ機能) ボタンをクリックして設定します。
3. Printer Function (プリンタ機能) グループの詳細機能は以下のとおりです。

	機能	説明
	Calibrate Sensor (センサーの校正)	プリンタの設定グループメディアセンサー欄に指定されたセンサーを校正します
	Ethernet Setup (イーサネットの設定)	IP アドレス、サブネットマスク、オンボードのイーサネット用ゲートウェイを設定します
	RTC Setup (RTC 設定)	プリンタのリアルタイムクロックと PC を同期します
	Print Test Page (テストページの印刷)	テストページを印刷します
	Reset Printer (プリンタのリセット)	プリンタを再起動します
	Factory Default (工場出荷時のデフォルト)	プリンタを初期化し、設定を工場出荷時のデフォルト値に復元します。
	Dump Text (テキストのダンプ)	プリンタダンプモードを起動します。
	Ignore AUTO.BAS (AUTO.BAS の無視)	ダウンロードされた AUTO.BAS プログラムを無視します
	Configuration Page (構成ページ)	プリンタ構成を印刷します
	Password Setup (パスワード設定)	設定を保護するためにパスワードを設定

工場出荷設定は以下のとおりです。

パラメータ	デフォルト設定
速度	ME240: 5 IPS (127 mm/秒) ME240: 3 IPS (76.2 mm/秒)
濃度	8
ラベル幅	101.6 mm (4.00")
ラベル高	101.6 mm (4.00")
センサーの種類	ギャップセンサー
ギャップ設定	3.0 mm (0.12")
印刷方向	0
基準点	0,0 (左上隅)
オフセット	0
印刷モード	バッチモード
シリアルポート設定	9600 bps、パリティなし、8 データビット、1 ストップビット
コードページ	850

国コード	001
フラッシュメモリを消去	いいえ
Shift(シフト) X	0
Shift(シフト) Y	0
ギャップセンサー感度	3 (リセットされます。ギャップセンサーの再較正が必要)
B ラインセンサー感度	2 (リセットされます。ギャップセンサーの再較正が必要)
言語	英語
IP アドレス	DHCP

構成ページ

セルフテスト印刷	
<pre> PRINTER INFO. XXXXX Version: X.XX EZ SERIAL NO.: XXXXXXXXXX MILAGE(m): 25 CHECKSUM: 07B575A3 SERIAL PORT: 9600,N,8,1 CODE PAGE: 850 COUNTRY CODE: 001 SPEED: 3 INCH DENSITY: 8.0 SIZE: 4.00 , 2.90 BLINE: 0.12 , 0.00 TRANSPARENCE: 2 HOST NAME: PS-600002 MAC ADDRESS: 00-1B-82-60-00-02 DHCP ENABLED: YES IP ADDRESS: 0.0.0.0 SUBNET MASK: 0.0.0.0 DEFAULT GATEWAY: 0.0.0.0 ***** FILE LIST: DRAM FILE: 0 FILE(S) FLASH FILE: 0 FILE(S) PHYSICAL DRAM: XXXX KBYTES AVAILABLE DRAM: XXX KBYTES FREE PHYSICAL FLASH: XXXX KBYTES AVAILABLE FLASH: XXXX KBYTES FREE END OF FILE LIST ***** </pre>	<p>プリンタモデル名 & メインボード ファームウェア バージョン</p> <p>プリンタシリアル番号</p> <p>印刷されたマイレージ</p> <p>メインボード ファームウェア チェックサム</p> <p>シリアルポート設定</p> <p>コードページ</p> <p>国コード</p> <p>印刷速度</p> <p>印刷濃度</p> <p>ラベルサイズ(幅、高さ)</p> <p>ブラックマークまたはギャップサイズ(縦ギャップ、オフセット)</p> <p>センサー感度</p> <p>イーサネット設定情報(オプション)</p> <p>ファイル管理情報</p> <p>プリントヘッド テストパターン</p>

テキストのダンプ

```
DOWNLOA 0D 0A 44 4F 57 4E 4C 4F 41
D „TEST2. 44 20 22 54 45 53 54 32 2E
DAT“,5,CL 44 41 54 22 2C 35 2C 43 4C
S DOWNLO 53 0D 0A 44 4F 57 4E 4C 4F
AD F,“TES 41 44 20 46 2C 22 54 45 53
T4.DAT“,5 54 34 2E 44 41 54 22 2C 35
,CLS DOW 2C 43 4C 53 0D 0A 44 4F 57
NLOAD „TE 4E 4C 4F 41 44 20 22 54 45
ST2.DAT“, 53 54 32 2E 44 41 54 22 2C
5,CLS DO 35 2C 43 4C 53 0D 0A 44 4F
WNLOAD F, 57 4E 4C 4F 41 44 20 46 2C
„TEST4.DA 22 54 45 53 54 34 2E 44 41
T“,5,CLS 54 22 2C 35 2C 43 4C 53 0D
DOWNLOAD 0A 44 4F 57 4E 4C 4F 41 44
“TEST2.D 20 22 54 45 53 54 32 2E 44
AT“,5,CLS 41 54 22 2C 35 2C 43 4C 53
DOWNLOA 0D 0A 44 4F 57 4E 4C 4F 41
D F,“TEST 44 20 46 2C 22 54 45 53 54
4.DAT“,5, 34 2E 44 41 54 22 2C 35 2C
CLS 43 4C 53 0D 0A
```

ASCII データ

ASCII データの左側列に関連する
16 進法データ

注記:

1. *Dump mode (ダンプモード)*は幅 4 インチの用紙幅を必要とします。
2. 通常印刷でプリンタを再開するには、電源をオフオンにします。

診断ツールについての詳細は、CD ディスク¥ユーティリティディレクトリの診断ユーティリティクイックスタートガイドを参照してください。

5 診断ユーティリティによるイーサネットの設定(オプション)

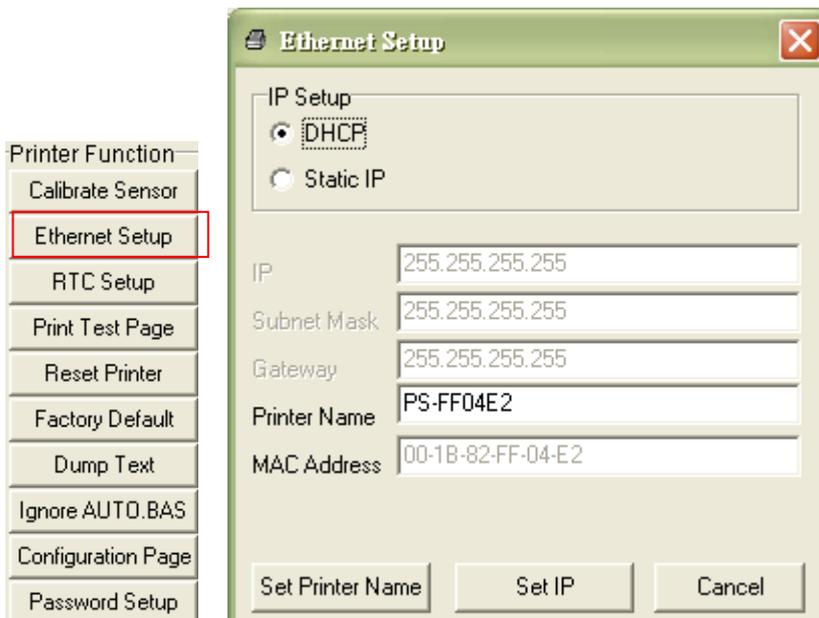
診断ユーティリティは CD ディスクのユーティリティ ディレクトリに含まれています。診断ツールを使って、RS-232、USBとイーサネットインターフェイスによりイーサネットを設定することができます。以下は、これら3種類のインターフェイスによるイーサネットの構成方法の説明です。

5.1 USB インターフェイスを使用してイーサネットインターフェイスを設定する

1. コンピュータとプリンタを USB ケーブルで接続します。
2. プリンタの電源を入れます。
3.  **DiagTool.exe** アイコンをダブルクリックして診断ユーティリティを起動します。
注記: このユーティリティはプリンタファームウェア V6.00 以降のバージョンで動作します。
4. 診断ユーティリティのデフォルトインターフェイス設定は USB インターフェイスです。USB インターフェイスがプリンタに接続されている場合、他の設定をインターフェイスフィールドで変更する必要はありません。

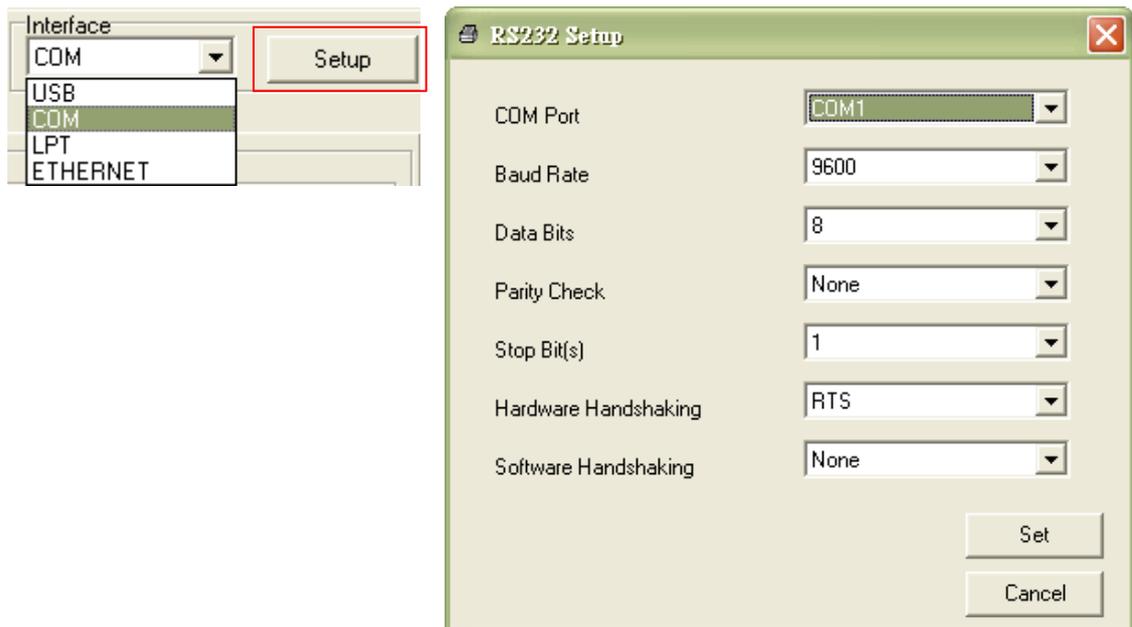


5. 「Printer Configuration」(プリンタ構成)タブの「Printer Function」(プリンタ機能)グループから「Ethernet Setup」(イーサネット設定)ボタンをクリックして、オンボードイーサネットの IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを設定します

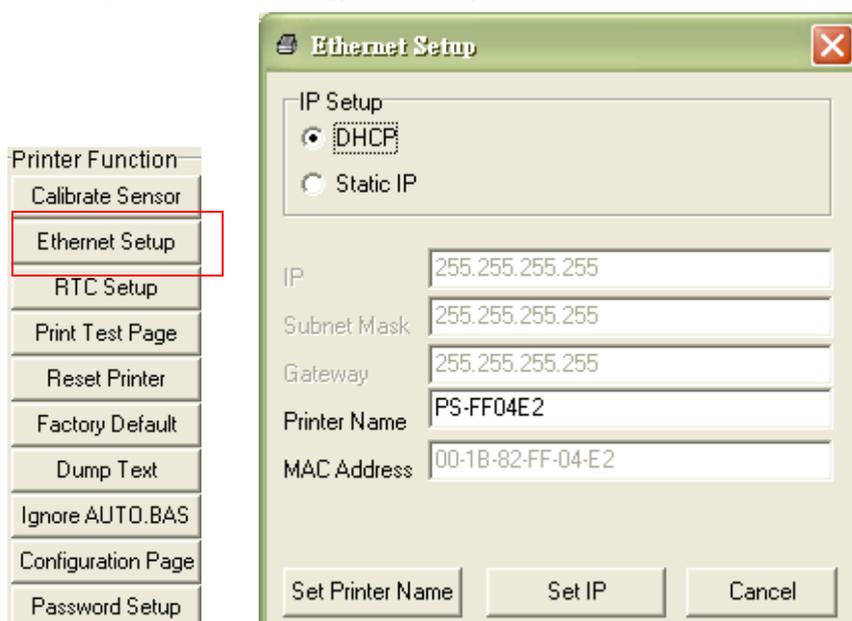


5.2 RS-232 インターフェイスを使用してイーサネットインターフェイスを設定する

1. RS-232 ケーブルでプリンタをコンピュータに接続します。
2. プリンタの電源を入れます。
3.  **DiagTool.exe** アイコンをダブルクリックして診断ユーティリティを起動します。
注記: このユーティリティはプリンタファームウェア V6.00 以降のバージョンで動作します。
4. 「COM」をインターフェイスとして選択し、「Setup」(設定) ボタンをクリックしてシリアルポート baud rate(ボーレート)、parity check(パリティチェック)、data bits(データビット)、stop bit(ストップビット)、フロー制御パラメータを設定します。

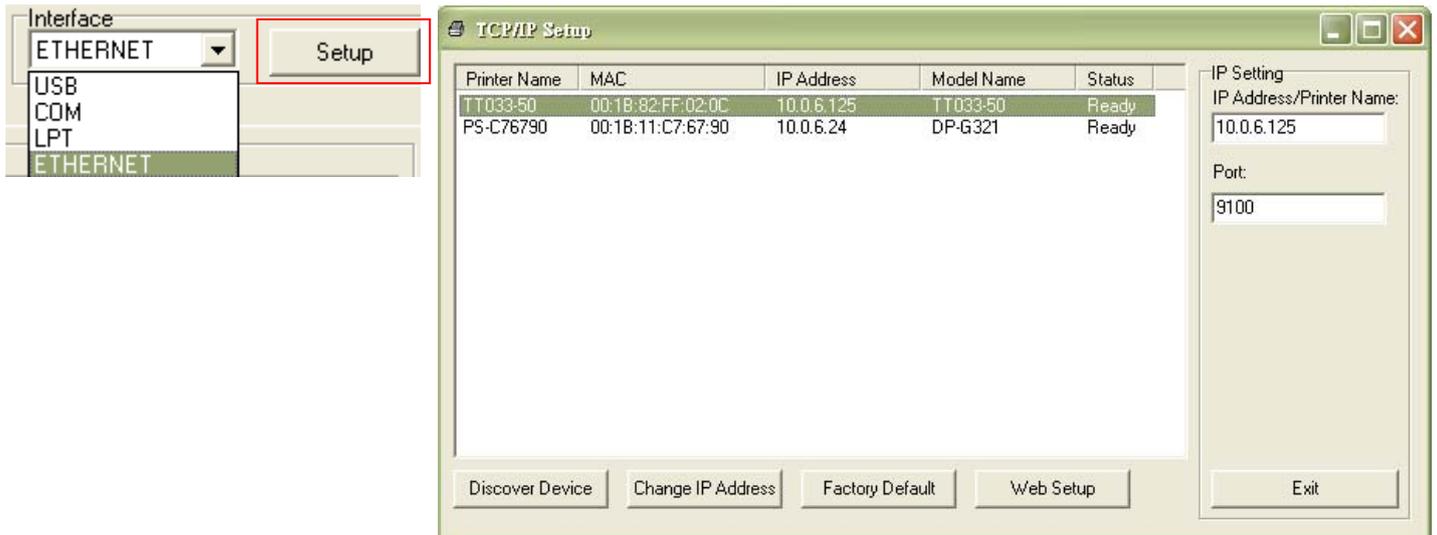


5. 「Printer Configuration」(プリンタ構成) タブの「Printer Function」(プリンタ機能) グループから「Ethernet Setup」(イーサネット設定) ボタンをクリックして、オンボードイーサネットの IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを設定します。

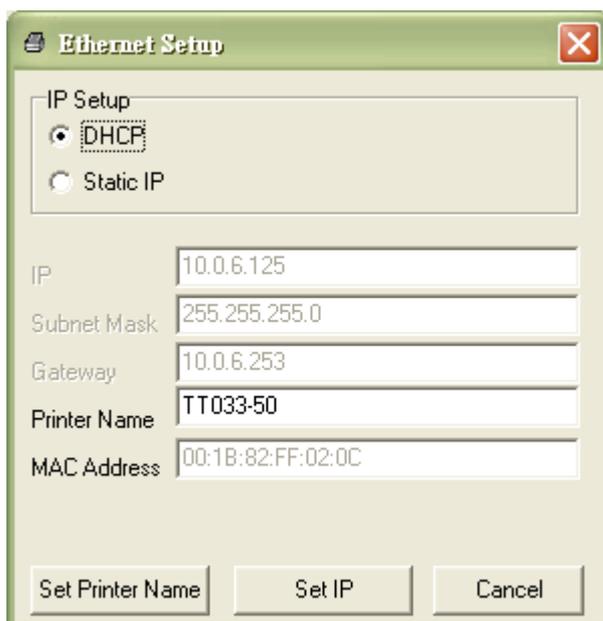


5.3 イーサネットインターフェイスを使ってイーサネットインターフェイスを設定する

1. コンピュータとプリンタを LAN に接続します。
2. プリンタの電源を入れます。
3.  **DiagTool.exe** アイコンをダブルクリックして診断ユーティリティを起動します。
注記: このユーティリティはプリンタファームウェア V6.00 以降のバージョンで動作します。
4. 「Ethernet」(イーサネット)をインターフェイスとして選択し、「Setup」(設定)ボタンをクリックしてオンボードイーサネットの IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを設定します。



5. 「Discover Device」(装置の発見)ボタンをクリックして、ネットワーク上に存在するプリンタを検索します。
6. リストされたプリンタの左側にあるプリンタを選択します。対応する IP アドレスが右側の「IP address/Printer Name」(IP アドレス/プリンタ名)フィールドに表示されます。
7. 「Change IP Address」(IP アドレスの変更)をクリックし、DHCP またはスタティックによって得られた IP address(IP アドレス)を構成します。



デフォルトの IP address(IP アドレス)は DHCP によって得られます。設定をスタティックIPアドレスに変更するには、「Static IP」(スタティック IP)のラジオボタンをクリックしてから IP address(IP アドレス)、サブネットマスク、およびゲートウェイを入力します。「Set IP」(IP を設定)をクリックして設定を有効にします。

また、このフィールドに別のモデル名を入力して「Printer Name」(プリンタ名)を変更してから「Set Printer Name」(プリンタ名を設定)をクリックして、この変更を有効にすることもできます。

注記: 「Set Printer Name」(プリンタ名を設定)または「Set IP」(IPを設定)ボタンをクリックするとプリンタがリセットされ、設定が有効になります。

8. 「Exit」(終了)ボタンをクリックしてイーサネットインターフェイス設定を終了し、診断ツールメイン画面に戻ります。

工場出荷時のデフォルトボタン

この機能は DHCP により得た IP、サブネットマスク、ゲートウェイのパラメータをリセットし、プリンタ名をリセットします。

ウェブ設定ボタン

プリンタの設定で診断ユーティリティを使用する場合を除き、プリンタ設定およびステータスを検索/構成したり、または IE や Firefox Web ブラウザでファームウェアを更新することができます。この機能は分かりやすい設定インターフェイスを提供し、ネットワーク上でプリンタをリモート管理します。

6. トラブルシューティング

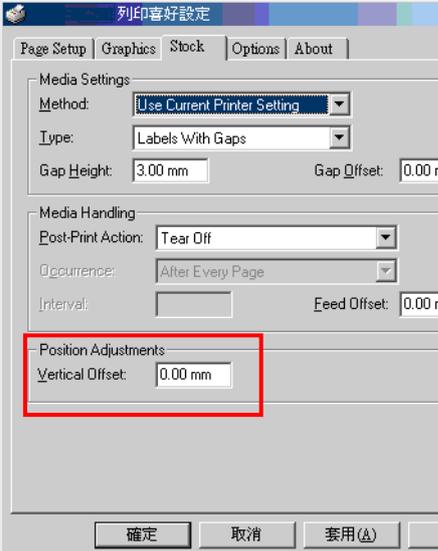
6.1 一般的な問題点

次のガイドは、本バーコードプリンタの操作中に発生する可能性のある最も一般的な問題点をリストアップしています。推奨されるすべての解決策を実行してもプリンタが正常に機能しない場合は、購入の小売店または販売業者のカスタマーサービス部にお問い合わせください。

問題	考えられる原因	回復手順
電源インジケータが点灯しない	* 電源コードが正しく接続されていない場合があります。	* 電源コードをプリンタとコンセントに繋いでください。 * プリンタの電源を入れます。
- 診断ツールに、プリンタのステータスが「ヘッドオープン」と表示される - LCD に「キャリッジオープン」と表示される	* プリンタのキャリッジが開いています。	* プリンタキャリッジを閉じてください。
- 診断ツールに、プリンタのステータスが「リボンエンドエラー」または「リボンエンコーダエラー」と表示される - LCD に「リボンなし」と表示される	* リボン切れです。 * リボンが正しく取り付けられていません。	* 新しいリボンロールを補充します。 * リボンロールを再補充するには、セクション 2.5 の手順を参照してください。
- 診断ツールに、プリンタのステータスが「用紙切れ」と表示される - LCD に「用紙なし」と表示される	* ラベル切れです。 * ラベルが正しく取り付けられていません。 * ギャップ/ブラックマークセンサーが校正されていません。	* 新しいラベルロールを補充します。 * ラベルロールを再補充するには、セクション 2.6 の手順を参照してください。 * ギャップ/ブラックマークセンサーを校正してください。
- 診断ツールに、プリンタのステータスが「紙詰まり」と表示される - LCD に「紙詰まり」と表示される	* ギャップ/ブラックマークセンサーが正しく設定されていません。 * ラベルサイズが正しく設定されているか確認してください。 * ラベルがプリンタ機構内に詰まっている可能性があります。	* ギャップ/ブラックマークセンサーを校正してください。 * ラベルサイズを正しくセットしてください。
- LCD に「ラベルを取る」と表示される	* ピールオフ機能が有効です。	* ピールオフモジュールが取り付けられている場合は、ラベルを取り除いてください。 * ピールオフモジュールがプリンタ正面に取り付けられていない場合は、プリンタの電源を切り、取り付けてください。 * コネクタが正しく接続されているか確認してください。
- LCD に次のように表示される <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> UP: Fwd. DOWN: Rev. MENU: Exit </div>	* カッタージャムです。 * プリンタにカッターが取り付けられていません。 * カッターPCB が破損しています。	* 買ったモジュールが取り付けられている場合、上あるいは下のキーを押して刈田を上下に回転し、刃の部分が正しい位置に戻るようになしてください。 * ラベルを取り除きます。 * ラベル厚が 280 g/m ² 以下か確認してください。 * カッターPCB を交換します。

<p style="text-align: center;">印刷できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> * ケーブルがシリアルあるいは USB インターフェイスまたはパラレルポートに適切に接続されていません。 * シリアルポートのケーブルピン構成がピンツーピン接続ではありません。 	<ul style="list-style-type: none"> * ケーブルをインターフェイスに接続し直します。 * シリアルケーブルを使用している場合は、 <ul style="list-style-type: none"> - ケーブルをピンツーピン接続と交換してください。 - ボーレート設定を確認してください。プリンタのデフォルトのボーレート設定は 9600、n、8.1 です。 * イーサネットケーブルを使用している場合は、 <ul style="list-style-type: none"> - イーサネット RJ-45 コネクタの緑の LED が点灯しているかを確認します。 - イーサネット RJ-45 コネクタのオレンジ色の LED が点滅しているかを確認します。 - DHCP モードを使用している際にプリンタが IP アドレスを取得しているかどうかを確認します。 - スタティック IP アドレスを使用している際に IP アドレスが正しく取得されているかを確認します。 - プリンタがサーバと通信する間数秒間待ち、その後 IP アドレス設定を再度確認してください。 * 新しいケーブルに交換します。 * リボンとメディアが互換していません。 * リボンのインク塗装面を確認します。 * リボンを取り付け直します。 * プリントヘッドの汚れを取ります。 * 印刷濃度設定が不適切です。 * プリンタヘッドのハーネスコネクタがプリンタヘッドと正確に接続されていません。プリンタの電源を切り、コネクタを接続し直します。 * プログラム上で、印刷のコマンドがファイルの終わりにあるか、また各コマンドラインの終わりに CRLF があることを確認します。
<p style="text-align: center;">メモリ一杯である (FLASH / DRAM)</p>	<ul style="list-style-type: none"> * FLASH/DRAM の容量が一杯です。 	<ul style="list-style-type: none"> * FLASH/DRAM 内の未使用ファイルを削除してください。 * DRAM の最大数は 256 ファイルです。 * ユーザーがアドレス可能な DRAM の最大メモリ容量は 256KB です。 * FLASH のファイル最大数は 256 です。 * ユーザーがアドレス可能な FLASH の最大メモリ容量は 2,560KB です。
<p style="text-align: center;">SD カードが使用できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> * SD カードが破損しています。 * SD カードが正しく挿入されていません。 * 認定 SD カード製造元のカードではありません。 	<ul style="list-style-type: none"> * サポートされている容量の SD カードを使用します。 * SD カードを挿入し直します。 * サポートされている SD カード仕様および認定 SD カード製造元については、セクション 2.2.3 を参照してください。

<p>印刷の質が悪い</p>	<ul style="list-style-type: none"> * リボンとメディアの取り付けが不適切です。 * プリンタヘッドに汚れや粘着物が付着しています。 * 印刷濃度が正しく設定されていません。 * プリンタヘッド部位が破損しています。 * リボンとメディアが互換していません。 * プリンタヘッド圧力が正しく設定されていません。 	<ul style="list-style-type: none"> * 電源装置をリロードします。 * プリントヘッドの汚れを取ります。 * プラテンローラーの汚れを取ります。 * 印刷濃度と印刷速度を調整します。 * プリンタのセルフテストを実行し、パターンにドットの欠落がないかプリントヘッドのテストパターンを点検します。 * 適切なリボンおよびラベルメディアに交換します。 * プリンタヘッド圧力調節ノブを調節します。 <ul style="list-style-type: none"> - 左側の印刷が薄すぎる場合、左側の圧力調節ノブを高いインデックス(高い圧力)に調節してください。圧力調節の分がインデックス「5」に調節されているものの、左側の印刷画質が良好でない場合、圧力調節ノブをインデックス「1」に調節し、Z 軸調節ノブを使用して圧力を微調整します。 - 右側の印刷が薄すぎる場合、右側の圧力調節ノブを高いインデックス(高い圧力)に調節してください。圧力調節の分がインデックス「5」に調節されているものの、右側の印刷画質が良好でない場合、圧力調節ノブをインデックス「1」に調節し、Z 軸調節ノブを使用して圧力を微調整します。 * リリースレバーがプリントヘッドに正しく嵌まっています。
<p>LCD パネルは無点灯だが、LED は点灯している</p>	<ul style="list-style-type: none"> * プリンタを初期化できませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> * プリンタの電源を入れ直します。 * プリンタを初期化します。
<p>LCD パネルは無点灯で、LED は点灯しているがラベルは前方にフィードされている</p>	<ul style="list-style-type: none"> * LCD パネルハーネスコネクタが緩んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> * LCD パネルハーネスコネクタが上下反転して接続されています。
<p>カッターが動作しない</p>	<ul style="list-style-type: none"> * コネクタが緩んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> * 接続ケーブルを正しく接続してください。
<p>印刷の際に、ラベルフィードが安定していない(曲がる)</p>	<ul style="list-style-type: none"> * メディアガイドがメディアの端に接していません。 	<ul style="list-style-type: none"> * ラベルが右側に動く場合は、ラベルガイドを左に移動してください。 * ラベルが左側に動く場合は、ラベルガイドを右に移動してください。
<p>印刷中にラベルがスキップされる</p>	<ul style="list-style-type: none"> * ラベルサイズが正しく指定されていません。 * センサー感度が正しく設定されていません。 * メディアセンサーに埃が溜まっています。 	<ul style="list-style-type: none"> * ラベルサイズが正しく設定されているか確認してください。 * Auto Gap(自動ギャップ)あるいは Manual Gap(手動ギャップ)オプションによりセンサーを校正してください。 * ギャップ/ブラックマークセンサーをブローで清掃してください。

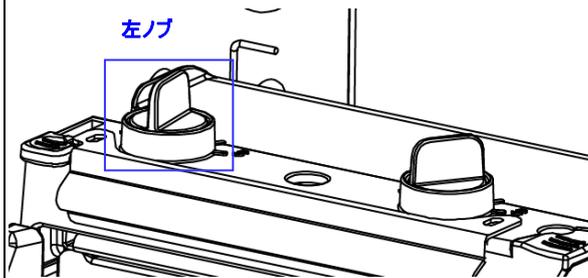
<p>小さいラベルの印刷位置が適切ではない</p>	<ul style="list-style-type: none"> * メディアセンサー感度が正しく設定されていません。 * ラベルサイズが正しくありません。 * LCD メニューの Shift(シフト) Y のパラメータが正しくありません。 * ドライバの垂直オフセット設定が正しくありません。 	<ul style="list-style-type: none"> * センサー感度を再度校正します。 * 正しいラベルサイズとギャップサイズを設定します。 * [メニュー] → [選択] x3 → [下]x6 → [選択]を押して Shift(シフト) Y のパラメータを微調整します。(オプション) * BarTender ソフトウェアを使用している場合、ドライバの垂直オフセットを設定してください。 
<p>印刷結果の左側の位置が正しくない</p>	<ul style="list-style-type: none"> * ラベルサイズの設定が正しくありません。 * LCD メニューの Shift(シフト) X のパラメータが正しくありません。 	<ul style="list-style-type: none"> * 正しいラベルサイズを設定します。 * [メニュー] → [選択] x3 → [下]x5 → [選択]を押して Shift(シフト) X のパラメータを微調整します。(オプション)
<p>ラベルの左側あるいは右側に、印刷されていない部分がある</p>	<ul style="list-style-type: none"> * ラベルサイズの設定が正しくありません。 	<ul style="list-style-type: none"> * 正しいラベルサイズを設定します。
<p>印刷を再起動する際の RTC タイムが正しくありません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> * バッテリーが残り僅かになっています。 	<ul style="list-style-type: none"> * メインボードにバッテリー残量があるか確認します。
<p>電源およびエラーLED が速く点滅している</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 電源をオフにし、オンにするのが速すぎた場合があります。 	<ul style="list-style-type: none"> * プリンタをオフにし、すべてのLEDが消灯するまで待ってから再度電源をオンにします。
<p>皺がよる</p>	<ul style="list-style-type: none"> * プリンタヘッド圧力が正しくありません。 * リボンの取り付けが正しくありません。 * メディアの取り付けが正しくありません。 * 印刷濃度設定が不適切です。 * メディアのフィードが正しくありません。 	<ul style="list-style-type: none"> * 次の章を参照してください。 * 適切な濃度を設定して印刷画質を向上させてください。 * ラベルガイドがメディアガイドのの端に接するようにしてください。
<p>空白ラベルにグレーのラインが印刷される</p>	<ul style="list-style-type: none"> * プリンタヘッドが汚れています。 * プラテンローラーが汚れています。 	<ul style="list-style-type: none"> * プリントヘッドの汚れを取ります。 * プラテンローラーの汚れを取ります。
<p>印刷が不規則である</p>	<ul style="list-style-type: none"> * プリンタが 16 進ダンプモードになっています。 * RS-232 設定が不適切です。 	<ul style="list-style-type: none"> * ダンプモードをスキップするには、プリンタをオフにし、再度オンにします。 * RS-232 設定をリセット

6.2 リボンの皺を防ぐ機構微調整

このプリンタは発送前に完全な検査を受けています。一般用途印刷において、メディア上にリボンの皺が表れることはありません。リボンの皺はメディアの厚み、プリンタヘッド圧カバランス、リボンフィルム特性、印刷濃度設定などにより発生します。リボンの皺が発生した場合は、次の手順に従ってプリンタ部位を調整してください。

<p>調節可能な プリンタ部品</p>		
<p>問題点</p>	<p>1. ラベルの左下から右上にかけて皺が発生する (「 / 」)</p>	<p>2. ラベルの右下から左上にかけて皺が発生する (「 \ 」)</p>
<p>皺の例</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="400 1039 703 1417">  </div> <div data-bbox="863 1070 922 1205">  </div> <div data-bbox="1066 1039 1369 1417">  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="767 1249 1011 1323" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>フィード方向</p> </div> </div>	

プリンタヘッド圧力調節ノブの調節

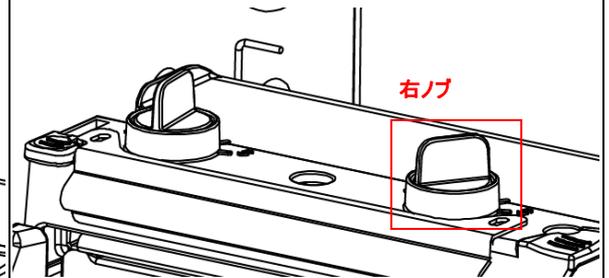


プリンタヘッド圧力調節ノブには、調節できる5つのレベルがあります。時計回りに回すとプリンタヘッドの圧力が上がります。反時計回りに回すと、プリンタヘッドの圧力が下がります。

ラベルの皺が左下から右上にかけて入る場合は、次のように調節してください。

1. 右側のプリンタヘッド圧力調節ノブを1レベルずつ下げながらラベルを再印刷し、皺がなくなるかどうかを確認します。
2. 右側のプリンタヘッド調節ノブ設定がインデックス1(一番圧力が低い位置)の場合、左側のプリンタヘッド圧力を上げてください。
3. それでも皺が取れない場合は、購入された小売店または販売業者のカスタマーサービス部に連絡してください。

プリンタヘッド圧力調節ノブの調節



プリンタヘッド圧力調節ノブには、調節できる5つのレベルがあります。時計回りに回すとプリンタヘッドの圧力が上がります。反時計回りに回すと、プリンタヘッドの圧力が下がります。

ラベルの皺が右下から左上にかけて入る場合は、次のように調節してください。

1. 左側のプリンタヘッド圧力調節ノブを1レベルずつ下げながらラベルを再印刷し、皺がなくなるかどうかを確認します。
2. 左側のプリンタヘッド調節ノブ設定がインデックス1(一番圧力が低い位置)の場合、右側のプリンタヘッド圧力を上げてください。
3. それでも皺が取れない場合は、購入された小売店または販売業者のカスタマーサービス部に連絡してください。

7. メンテナンス

このセッションでは、プリンタを保守するための清浄ツールおよび方法を示します。

1. プリンタを清浄するには次のいずれかの材料を使用してください。

- 綿棒
- 柔らかい布
- 真空/ブローブラシ
- 100% エタノール

2. 清浄は次のプロセスで行なってください。

プリンタ部品	方法	間隔
プリントヘッド	1. プリントヘッドを清浄する前に必ずプリンタの電源を切ってください。 2. 少なくとも1分間、プリンタヘッドが冷却されるのを待ちます。 3. 綿棒と100%エタノールを使ってプリントヘッドの表面を拭きます。	新しいラベルロールを使う時はプリントヘッドを拭いてください。
プラテンローラー	1. プリンタの電源を切ります。 2. プラテンローラーを回転し、100%エタノールと綿棒、または柔らかい布でそれを完全に拭き取ります。	新しいラベルロールを使う時はプラテンローラーを拭いてください
テーパーピールバー	柔らかい布と100%エタノールを使って拭き取ります。	必要に応じて
センサー	圧縮空気または真空	毎月
外面	水で湿らせた布で拭きます	必要に応じて
内面	ブラシまたは掃除機	必要に応じて

注記:

- プリンタヘッドに手を触れないでください。うっかりヘッドに触れてしまった場合は、エタノールを使って汚れを取り除きます。



TSC Auto ID Technology Co., Ltd.

本社

9F., No.95, Minguan Rd., Xindian Dist.,
New Taipei City 23141, Taiwan (R.O.C.)

電話: +886-2-2218-6789

ファックス: +886-2-2218-5678

ホームページ: www.tscprinters.com

電子メール: printer_sales@tscprinters.com

tech_support@tscprinters.com

Li Ze 施設

No.35, Sec. 2, Ligong 1st Rd., Wujie Township,
Yilan County 26841, Taiwan (R.O.C.)

電話: +886-3-990-6677

ファックス: +886-3-990-5577